

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トゥー・ミー

To Me

10

Oct 2017
Vol.269



ときめき人
白鳥康彦さん

【特集】
聖地長沼に精鋭集結
—南東北総体2017—

夏に挑む
心つないだ10943日

【今月の表紙】
2017YOSAKOI&ねぷたinとよさと
(関連記事 39 ページ)



Interview

それぞれのインターハイ

女子ダブルスカルに出場した 松永真梨子さん・安部萌花さん(福岡県東筑高)

優勝が目標だったので、5位は悔しいですが、全てを出し切ったの結果なので納得しています。長沼は、河川コースと違い、荒れることもなくこぎやすかったです。横風対策をすれば、より良い環境になると感じました。高校卒業後もボートを続ける予定なので、また長沼に来ます。



栗原市から友達の応援に訪れた 大内優真さん・佐藤駿介さん・三浦晴輝さん・新妻龍神さん

佐高ボート部の佐藤主将が友達なので、応援に来ました。佐高男子のレースがある3日間、長沼に通い詰めしました。隣町ですが、ボート競技を見たのは初めてです。地味なスポーツだと思っていましたが、競り合いのときなどは、すごく興奮しました。観客席が整備されると見やすいですね。



大会ボランティアで選手を支えた 高橋千怜さん・鈴木藍理さん(登米総合産業高3年)

3日間、給水ブースで仕事をしました。想像以上に仕事は忙しかったですが、県内外年齢を問わず多くの人と交流できて楽しかったです。私たちも運動部なので、インターハイ出場はうらやましいと思いました。インターハイに、スタッフとして関わったことはよい経験になりました。



■4日間、約千人の選手が聖地長沼で熱戦を繰り広げた。優勝を決め、喜びの感情を爆発させる加茂高女子クルー。■大会期間中、約5千人の観衆が訪れ、クルーらに声援を送った。■熱い戦いを誓った選手宣誓。■リング場でボートを整備する選手ら。スペースに余裕があり、関係者からは好評を得た。■準備から後片付けまで、市内外の高校生が大会を支えた。

聖地長沼に精鋭集結

南東北インターハイボート競技を長沼で開催 ～はばたけ世界へ 南東北総体 2017～



27年ぶりの本市開催 佐高男子が5位入賞

南東北インターハイボート競技は8月2日から6日まで、アイエス総合ボートランド(長沼ボート場)で開かれ、全国の精鋭たちが宮城ボートの聖地で覇を競った。

本市でインターハイボート競技が開かれたのは、1990年以来、27年ぶり。久しぶりのインターハイに、早いうちから、地域は歓迎ムード。期間中、市内で心地よく過ごしてもらおうと、北方地域の住民や小中学生などが、会場付近を清掃、花壇に花を植えるなどし、選手たちを歓迎した。

全国から集まった191校、942人の選手が参加した。2日の開会式に、佐藤慧選手(佐沼)と佐藤千紘選手(石巻)が選手宣誓し、戦いの幕が切れて落とされた。ボート競技は、男女ともシングルスカル(二人乗り)、ダブルスカル(一人乗り)と舵手つきクォドルプル(こぎ手4人、舵取り1人)の3種目。

本県からは、男子シングルスカル、ダブルスカルに石巻と石巻工業、舵手つきクォドルプルに地元佐沼と石巻工業が、女子シングルスカルに石巻と塩釜、同ダブルスカル、舵手つきクォドルプルに佐沼と石巻が出場した。

3日に競技が始まり、男女とも

にシングルスカル、ダブルスカル、舵手つきクォドルプルの予選。宮城県勢は男女ともシングルスカルで3位以内に入り予選を突破。ダブルスカルの男子2校は敗者復活戦にまわり、女子は2校とも準々決勝に駒を進めた。舵手つきクォドルプルの男子は、優勝を狙う佐沼が圧倒的な差を付け、1位通過。石巻工業は敗者復活戦に。女子は、石巻が1位通過し、佐沼が敗者復活戦にまわった。

翌4日は、準々決勝進出を懸けた敗者復活戦。県勢は、全て翌日の準々決勝進出を決めた。

5日は、男子シングルスカルで石巻の藤井が、同舵手つきクォドルプルで佐沼が準決勝に進出。それ以外の種目は、準々決勝で涙のんだ。

最終日、県勢の期待を一心に背負った藤井と佐沼。藤井は健闘するも準決勝敗退。県勢最後のとりでの佐沼は、準決勝を4位と0秒27差で3位に入り、地元開催の重圧をはねのけ、決勝に駒を進めた。迎えた決勝、大声援の中、佐沼クルーは全力を尽くした。目標の優勝には届かなかったが、5位入賞を果たした。

村田清晃競漕副委員長は「天候にも恵まれたが、関係機関や地元との調整、準備が万全だったので、スケジュール通り運営できた」と振り返った。

競技結果 - RACE RESULT -

男子シングルスカル		
順位	氏名	高校
優勝	島田隼輔	瀬田工(滋賀)
2位	福井修聡	清風(大阪)
3位	兼康 慎	敦賀工(福井)
4位	大輪龍斗	潮来(茨城)
5位	内山正喜	今治北(愛媛)
6位	江島慧奇	千歳丘(東京)

男子ダブルスカル		
順位	高校	クルー
優勝	備前緑陽(岡山)	有本・太田
2位	瀬田工(滋賀)	野々下・杉原
3位	小見川(千葉)	長尾・木村
4位	八代清流(熊本)	高植・山下
5位	今治南(愛媛)	阿部・衣笠
6位	吉田(山梨)	大橋・工一

男子舵手つきクォドルプル		
順位	高校	クルー
優勝	岡谷南(長野)	小林(怜)・手塚・小林(駿)・牛山・伏見
2位	熊本学園大付(熊本)	長友・茂見・小島・上野・岩松
3位	関西(岡山)	山田・角南・中村・熊谷・尾上
4位	慶応義塾(神奈川)	甲斐・下田・勝野・大下・朝日
5位	佐沼(宮城)	阿部・佐藤(樹)・佐藤(慧)・佐藤(太)・永浦
6位	宇和島東(愛媛)	松本・稲田・武川・中里・高魚

女子シングルスカル		
順位	氏名	高校
優勝	米澤知華	浦和一女(埼玉)
2位	村松栄理	若狭(福井)
3位	宇野聡恵	日田(大分)
4位	山口晴那	浜松西(静岡)
5位	岩崎かえで	桜宮(大阪)
6位	玉田夢子	むつ工(青森)

女子ダブルスカル		
順位	高校	クルー
優勝	本荘(秋田)	佐藤・五十嵐
2位	美方(福井)	磴・新田
3位	今治北(愛媛)	田窪・越智
4位	江津工(鳥根)	藤田・沖田
5位	東筑(福岡)	松永・安部
6位	館林女(群馬)	小松原・木部

女子舵手つきクォドルプル		
順位	高校	クルー
優勝	加茂(岐阜)	野中・洲上・市田・鈴木・日比野
2位	南稜(埼玉)	斎藤・竹川・村越・溝口・三嶋
3位	横浜商(神奈川)	田中(愛)・柴田・関・黒沼・荒井
4位	美方(福井)	武田・萩野・荒木・大崎・武長
5位	猿投農林(愛知)	内木・一柳・岩月・渡邊・小池
6位	小松川(東京)	勝又・小林・斉藤・国府田・久保田

聖地長沼を沸かせた
佐沼高ボート部クルーたち
(氏名・学年・種目)



1初のインターハイで5位入賞を果たした男子舵手つきクォドルプル2過去最高タイムをマークした女子舵手つきクォドルプル3「最高のペアでした」とお互いを評する女子ダブルスカル4佐沼高ボート部全員で記念撮影。忘れられないインターハイとなった5準々決勝後、抱き合い涙を流す富士原(左)と高橋(右)6レース前、監督、部員が一体となり士気を高める



熱い夏過ごした佐高クルー 聖地長沼で躍動する

男子舵手つきクォドルプルの5位入賞など、地元開催という重圧をはねのけ、見事な成績を残した佐高ボート部。佐高ボート部の熱くて濃密な4日間を追った。

地元でのインターハイ
全てを出し尽くす

開会式後のインタビューで「男子は地元優勝が目標」と佐藤主将が、「女子は、両種目で上位入賞を目指す」と大槻が力強く答えた。大口ではなく、そのための準備はできているという自信にあふれていた。

佐高クルーは、大会2週間前に1週間の強化合宿を実施。持久力強化に向け、毎日40キをこいだ。朝から夕方までひたすらこぐ1週間。これが、選手たちの大きな自信につながった。

女子クォドルプルは、予選、敗者復活戦を経て、準々決勝に進出した。大会直前にこぎ順を変更し、予選後に戻すという荒療治もあった。全ては「上位入賞」のため。迎えた準々決勝、常には、500計付近でペースダウンするが、残り250計から再スタート。過去最高の3分45秒90をマークするも、5着に終わる。

女子ダブルの高橋、富士原は初のインターハイ。ダブルは人数が少ない分、一つのミスがタイムに直結。2人の技量と呼吸を、しっかりと合わせる事がかぎになる。準々決勝、三塚監督は「ボート人生か

けてこい」のげきに2人はうなづいた。けきに応え、息と気持ちいを合わせ、最初から全開。500計付近まで、トップをマークしていたが、ペースアップについていけず5着に。女子の夏は準々決勝で終わった。

男子は、今年1月クォドルプルでのインターハイ挑戦を決めた。「全員の力で優勝する」。それからの半年は、優勝に向けて練習の日々。始業前、午前5時からの朝練習は当たり前だった。県総体で優勝し、インターハイを決めた。意外にも男子メンバーも、初めてインターハイだった。

迎えた本番「地元開催の重圧は想像以上」だった。楽なレースは一つもなかった。そのような中、気持ちを切らさず決勝に駒を進めた。決勝は、前半500計を4位で通過。最後に追い込みをかけたが及ばず、5位で大会を終えた。

佐沼高3年生クルーの目に涙はなかった。勝てない悔しさはあったが「全て出し尽くしました。最高のインターハイでした」と笑顔を見せた。「少ない部員で、よくここまで頑張ってくれた。生徒は登米市の誇り」と三塚監督は生徒たちをねぎらった。

「オール登米市」の 取り組みが「聖地」に つながる



南東北インターハイ
ボート競技
村田清晃競漕副委員長

今大会は大きなトラブルもなく、手前そになりませんが、本場に充実した内容だと思っっています。これには、大きく三つの要因が上げられます。

一つ目は、天候に恵まれたこと。期間中の気温が、26、27度で推移し、曇過ぎず、ちょうど良い環境でした。

二つ目は、高体連、ボート協会や行政など関係機関との連携や事前の準備がうまくいき、万全な運営体制だったこと。結果として、競技の進行を一切変更することなく、閉会を迎えることができました。

最後に三つ目は、地域からの支援。地域の自主的な地域清掃や北方小のアンケート調査協力など、本場にありがたいものでした。また、地元の3校から約500人の生徒が、運営スタッフとして協力してくれました。高校生の祭典を、高校生が支えた非常に意義のある大会でした。協力、支援いただいた全ての皆さんに感謝しています。

オールをこいで、進むボート競技。今大会の成功は、まさに「オール登米市」の力があってからこそ。登米市がボートの「聖地」になることを期待しています。

夏に挑む

この夏、各種全国大会で活躍した本市の小中高生たち
彼らの夏の挑戦に迫る



佐沼高箏曲部

全国高校総合文化祭
日本音楽部門 文化庁長官賞
(写真左から、門田亜子(2年)、千葉美咲(1年)、
及川明莉(1年)、菅原未来(1年)、阿部桃子(1年))

「全国2位の結果はうれしい。アナウンスを聞き間違えたかと思った」と門田と阿部はにっこり。

第41回全国高校総合文化祭「みやぎ総文」の日本音楽部門は7月31〜8月1日、多賀城市文化センターで開かれ、佐沼高校箏曲部が優秀賞・文化庁長官賞を受賞した。優秀賞は2位に相当する。

箏曲部は、2008年に創部し今年18年目を迎える。全国総文祭にはこれまで16回出場。全国の常連校として名高い。総文祭県代表校は、前年の日本音楽定期演奏会で、最優秀賞校が出演資格を得る。昨年は、門田一人で出場し、本年につながった。

「箏曲の魅力は、複数での演奏。早く仲間が欲しかった」と門田。本年4月、新たに4人が入部した。新入部員の1人、

した。出番が来た。広い会場、多くの聴衆に重圧を感じた。2人は「まずはしっかりと、自分たちの演奏をしよう」と舞台に上がった。聴衆は、奏者の人数の少なさに驚いていた。驚きとともに「どのような演奏が聴けるのか」という期待感も生まれた。

2人は同時に箏に手を置いた。最初の一拍が一つになった。リズムに乗り演奏が始まった。曲は徐々に激しさを増す。起伏が激しく、早いテンポにも2人の音はずれな

い。演奏のことだけ考えた。たった2人での演奏とは思えない迫力を表現。2人の音色は会場を魅了した。

佐藤さんから「みんなの応援を深く感じて、一生懸命弾けたね」とうれしい言葉ももらった。「審査結果を発表されたときは、自分たちだと思わなかった」と笑う阿部。文化庁長官賞受賞は、同校初の快挙。部員も関係者も歓喜に沸いた。

「本年の日本音楽定期演奏会では、最優秀賞を目指し練習している。来年は、5人全員で全国の舞台に立ちたい」

全国小学校陸上競技交流大会 2017年8月18、19日 横浜市日産スタジアム

6年男子100m

目標は、タイムを12秒台に縮めることでした。体が硬かったので、ストレッチなどに毎日取り組んできました。全国大会は、12秒93が出せてうれしかったです。準決勝には0秒1届かず、悔しかったです。中学校に行っても野球を続けながら、陸上で東北大会出場を目指したいと思います。



佐々木清翔
(柳津小6年)

5年男子100m

初めての陸上大会だったので、朝練に励みました。先生に言われた通りフォームを直したら、市大会では自己ベストの13秒9を出せました。全国はスタートが上手くいったけど、後半伸びず予選敗退。県代表として恥ずかしくないよう、練習を積み重ね、来年は12秒台を目指したいです。



佐々木兜牙
(北方小5年)

5年女子100m

全国大会での目標は、準決勝進出でした。初めての全国で、予選1組目になり、すごく緊張しました。練習してきた「背筋を伸ばして走る」はできましたが、目標が達成できず悔しいです。来年は、全国で準決勝に残れるよう、体育とスポ小のラグビーを頑張っていきます。夢は女子ラグビー日本代表です。



木川海
(佐沼小5年)

男子80mハードル

初めての全国でしたが、目標は「決勝に残る」でした。思ったより緊張せず、調子が良かったので、自己ベストを出せると思いました。スタートはこれまでで一番良かったのですが、周りよりも速く、あっという間においていかれました。中学に進んだら、陸上かバスケをしたいと思います。



渥美優希
(登米小6年)

男子走り高跳び

自己ベストの1m32を超え、8位入賞が目標でした。全国大会までは、助走のスピードとリズム、踏み切りのタイミングを徹底して練習しました。本番は思ったより緊張しませんでした。1m35を跳ぶことができませんでした。中学では、陸上かバスケに入部し、全国大会を目指します。



佐藤弘清
(石森小6年)



小泉宗士

Koizumi Soushi

「高み目指すポールボルダー」

全日本中学校陸上競技選手権大会
男子棒高跳び 6位
米山中 3年

その瞬間、スタンドからはどよめきと歓声、そして大きな拍手が鳴り響いた。県中学校総合体育大会陸上競技大会は7月22日から24日まで、利府町のひとめぼれスタジアム宮城で開かれ、小泉は大会新記録の4.41mを跳び優勝した。「目標だった全国の舞台に立てる」。全中出場を目標に努力してきた小泉は、表彰台で満面の笑みを見せた。憧れの舞台、全国中学校陸上競技選手権大会は8月20日から22日まで、熊本市のえがお健康スタジアムで開かれた。男子棒高跳びは、20日に予選、21日に決勝の日程で競われた。予選当日、初の大舞台にも「多少緊張したが、競技が始まると自分の世界に入った」と物怖じしない。試技は4.41mから始まり、一本目でクリア。続く4.42mは2本目、4.43mは一本目でクリアと、良いリズムで跳躍を重ねる。4.43mを跳んだところで、予選通過が決定し、決勝に駒を進めた。

「ここは一本目で難なくクリアした。続く4.43mも一本目でクリア。いよいよ自己記録の4.44mへの挑戦となった。1、2本目が失敗に終わり、運命の3本目。「踏み切ってから、バーに向かう瞬間、いつもの跳躍ができていないことはすぐに分かった」。自己記録を超えることはできなかったが、堂々の6位入賞を果たした。元々サッカーをしていた小泉だが、中学校にサッカー部がなく、陸上部に入部した。正直、楽しいと思っていなかった。転機は中1の夏。棒高跳びをしていた6歳上の兄に勧められ、種目転向した。道具を使って、より高く跳ぶ棒高跳びのとりこになった。身体能力の高さもあり、その才能はすぐに開花。順調に記録を伸ばしていった。「より高く跳びたい」。誰よりもひたむきに練習に打ち込んだ。しかし、無理がたたり腰椎分離症に。大げがを乗り越えての全中出場だった。「高校では、全国の舞台でさらに上位入賞を」と今後の目標を語る小泉。貪欲なまでに高みを目指し、挑戦する姿勢は、これまでも、これからも変わらない。



「目標実現するハードラー」

全国高校総合体育大会
陸上競技大会 100mハードル 4位
柴田高 2年(中田町本町畑中出身)

及川優花

Oikawa Yuka

「当初目標の決勝進出は果たしましたが、メダルを取れなかったことが悔しい」と今回の結果に満足していない。全国高校総合体育大会陸上競技大会は7月29日から8月2日まで、山形県天童市のNDソフトスタジアム山形で開かれた。自身2度目のインターハイ。昨年は予選敗退に終わり、今年は「決勝進出」を目標に練習を重ねてきた。4月に腰を負傷し、万全でないながらも優勝した県大会。故障から明け、14秒08と自己ベストを更新した東北大会。本番を前に、徐々に調子を上げてきていた。しかし、前日練習では浮かない表情。及川は「ハードル間の走りがイメージより遅い」と花沢元監督に訴える。花沢監督は「ピークをうまく合わせられなかったか」と思ったが、「本番になれば大丈夫」と及川の背を押した。迎えた予選、及川の不安は無用の心配に終わった。課題のスタートはまずまずの出来。後半に得意のスパートで、14秒08の自己ベストタイをたたき出した。及川は「少しプレッシャーを感じていたのかもしれない」と振り返る。

心身ともに、上り調子で臨んだ準決勝。「ハードルを超えるときに、上に抜けない」よう、上半身の前傾を意識して走った。結果は13秒98で全体4位。「準決勝では13秒台を狙っていた」。大舞台でも臆することなく、自己ベストを更新してみせた。「ここまで来たら、メダルを持ち帰る」。決勝進出、自己ベスト更新と2つの目標を達成した及川。さらに一段上の目標を設定した。仲間や家族などからの声援を受け、決勝が始まる。「スタートで離されても、いつも通り、焦らずに後半追い上げる」。自分の走りだけに集中した。自身の感触は悪くはなかったが、周りはスタートから一気に飛び出す。6台目のハードル付近から、爆発的な加速で追い上げたが、メダルにはわずかに届かなかった。「監督、仲間や家族など、多くの人が応援してくれたことに答えられなかった」と唇をかむ及川に、「大会前の全国ラッキンクは14位。よく努力した。今回の結果は立派な出来」と花沢監督は目を細める。「来年は絶対にメダルを取ります」。及川の目はすでに、東海総体を見据えている。



「新しい世界知り、前へ」

「このメンバーで全中に行けたことがうれしかった」と口をそろえる3人。県大会は、佐沼中との準決勝が、全中行きを握っていた。市大会は僅差での勝利で、力の差がないことは分かっていた。先制して勢いに乗ろうと積極的に攻めに出た。先鋒佐藤が粘る相手を絞めで一本。中堅高橋は寝技、大将加藤は背負い投げで勝ち、その勢いで決勝を制し、全中行きを決めた。

全中では、予選で大成中(愛知県)、下妻中(茨城県)と対戦し2敗で敗退。個人63kg級に出場した高橋も寝技でポイントを取られ、1回戦敗退となった。加藤は「自分たちの柔道が通じず、思うような試合ができなかった。分かっていたつもりだが、上には上がいる。より努力しなければ、上位には行けないと痛感した」と唇をかんだ。

全国の舞台で、3人は新しい世界を知った。進路は未定だが、共に戦ったメンバーも、高校ではライバルかも知れない。新たなステージでの全国制覇を目標に、努力の日々は変わらない。

全国中学校柔道大会
柔道女子団体 米山中女子柔道部
(佐藤悠・高橋春香・加藤ほのか(全員3年))
女子個人63kg級 高橋春香



写真左から、安達、加藤(光)、千枝、加藤(拓)、伊藤、武川、北浦

夏に挑む Zoom Up Tome 2017 Special

「離れても心は一つ」

「最高のメンバーと出会えた」と話す4人。市内から、全中リレー出場は、初めての快挙だった。1年前から、フォームの改善や食事面での栄養管理など、全中に向けて準備してきた。このような取り組みが実を結び、4月ころからタイムが縮み、着実に成果が現れた。県大会はすべて標準記録を突破し、全中の切符を獲得した。県大会で、最初のピークを持ってきたため、東北大会では調子を落とす。全中までは試行錯誤を繰り返した。

千葉以外の3人は初の全中。期間中、自分たちのリズムをうまく作れなかった。自由形、メドレーともにタイムが伸びず予選敗退した。個人バタフライで決勝進出を目指していた千葉は、前日からの腰に痛みにより、得意のアンダーウオータキックができずタイムは自己ベストから大きく遅れた。リレーリーダーの富士原は「このメンバーで勝ちたかった。小学生から一緒に水泳をしてきて、良いところも悪いところも全部知っている。今後はそれぞれのステージで全国を目指す」。



全国中学校水泳競技大会
男子400m自由形リレー・同メドレーリレー
佐沼中水泳部(富士原雅仁(3年)・渡邊偉月(3年)・石川太地(2年)・千葉悠正(3年)・佐々木凌雅(3年)・富士原和仁(1年))
男子100mバタフライ 千葉悠正

全日本少年少女空手道選手権大会

組手の部

- 少5男子 北浦心太(菊田道場、加賀野小)
伊藤大翔(菊田道場、登米小)
- 小6男子 安達陸人(はさま、佐沼小)
- 小6女子 加藤光(はさま、中津山小)
武川裕奈(はさま、佐沼小)

「負けは明日の勝利の薬」

和道会全国空手道競技大会

組手の部

- 中学男子3位 加藤拓巳(はさま、米山中3年)
- 中学男子5位 千枝 紘(はさま、佐沼中1年)

市内にある和道流の道場は、和道会はさまと和道会菊田道場の2つ。はさまは、約30年前、菊田道場は7年前から活動している。全国の強豪として名高い2つの道場は、今年も大量7人の若き空手家を全国に送り込んだ。

全日本少年少女空手道選手権大会は8月5日、東京武道館で開かれた。

小5男子の北浦と伊藤は、共に初の全国。どちらも攻撃型で、北浦は蹴りを、伊藤は突きを得意としている。北浦は、開始直後から蹴りを繰り返すも、相手にうまく裁かれ、防戦一方の展開。気付けば0対6で敗れた。伊藤は、緊張から体が動かず、1対3で敗戦。共に涙をのんだが、来年初舞台でリベンジすることを誓った。

小6男子の安達は、1回戦シードで2回戦からの登場。6年連続の出場で大舞台には慣れており、8強入りも期待されていた。しかし、大会1カ月前に痛めた背骨の影響で技が決まらず、0対1で敗れた。

小6女子の加藤と武川は、共に1回戦を勝利し2回戦に進出。迎えた2回戦、加藤は蹴りを交えての攻撃を心掛けた。しかし、突ぎが多くなり、

攻撃が単調になったところを決められ失点。勝てる試合を落としてしまう。武川は、こちらからの攻撃を待っている相手に、焦って突っ込んでしまいい、カウンターで攻められ0対4で敗北。2人は、練習してきたことが実践できなかったことを悔やんだ。

和道会全国空手道競技大会は8月19、20の両日、日本武道館などで開かれた。

中学男子の千枝と加藤は、上位入賞が目標。千枝は、順当に4回戦まで勝ち上がったが、準々決勝で隙を付かれ判定負け。加藤は「みんなの分も自分が」と準決勝に臨んだ。序盤、相手を押し込んだが、攻撃に切れがなくなったところを攻められ3位に終わった。加藤は「負けはしたが、全力で臨んだ結果」と胸を張った。

和道流の空手家たちは「今日の負けは明日の勝利の薬」と、前を向き稽古を続ける。

佐沼中男子
ソフトボール部



全国中学校
ソフトボール大会

佐々木あすか
3年 佐沼中



全国中学校柔道大会
女子個人70kg超級

「全中の目標は、昨年果たせなかった初戦突破」。これに向けて、高校生との練習試合や細かい技術などを貧欲に取り組んでいた。その中で見つけたのは「自分の柔道」。取り組むべき道が明確になった。

全中は、1回戦不戦勝、2回戦で佐賀県武雄中の橋口と対戦。過度な緊張はなく体は動いた。得意の大外刈りを仕掛けたところをすかさず、払腰で1本負け。目標には届かなかったが、悔いはなかった。

佐々木は「今後は、希望する高校に進学し、インターハイに出場することが目標。「自分の柔道」でリベンジを果たしたい」と心に誓った。

先輩たちから引き継いだ「全国で1勝」が悲願だった。悲願達成に向けてのチームづくりでは、意見がぶつかった。そのたびに話し合いを重ねて連携を強化してきた。全中行きは、「目標に向けての一步、まだスタートライン」。

1回戦の相手は、高知県の黒岩・尾川中。試合直後、会場の雰囲気にもまれ、周りの指示が聞こえなかった。上位打線にヒットが出ず、3回ともに3者凡退。守備では、細かなミスが大量失点に結びついた。結果は0対15で負け。それでも、最後まで諦めずに戦い抜いた。悲願は、後輩たちに託された。



佐藤菜央
登米高2年
南方町大袋

2000m・500m
全国高校体育大会
カヌー・スプリント
準決勝進出

「いつでも出し切るだけ」

「まさか、インターハイに出場すると思わなかった」と控えめに話す佐藤。

工藤大將監督は「水をつかむ感覚や持久力など、よい素質の持ち主。まず、今年は秋の新人大会で勝てるように仕上げたい」と考えていた。しかし、県総体決勝で1位の選手に粘り強く食らいつき、ゴール直前で逆転し優勝。「負けたくない、最後にもう一押しした。インターハイのことは全く頭になかった」と無欲の勝利だった。

インターハイには「持てる力を全て出し切る」を目標に臨んだ。初の全国でも「全く緊張しなかった」と強心臓ぶりを見せ、200、500mのいずれも、準決勝に進出した。特に500mの予選は、雨で大波が立つ最悪の状況。多くの選手が転覆で失格していた。その中で、バランスを崩しながらも4着でゴール。「あの状況で、バランスを何度も崩しながら、4着に入ったところに伸びしろを感じた」と工藤監督。「練習もレースも出し切るだけです」と、佐藤は自然体でカヌーと向き合う。

夏に挑む

Zoom Up Tome 2017 Special

佐々木開地
南方小4年



第33回
わんぱく相撲全国大会

北方小自転車クラブ



子供自転車全国大会

わんぱく相撲全国大会は力士の聖地、両国国技館で開かれ、全国から130人のちびっ子力士が出場し、佐々木はベスト32に入った。初めての全国大会に「どきどきしたけど、わくわくしていた」と無邪気に笑う。1回戦は、兵庫県の選手と対戦。一回りも大きい相手だが、立ち合いで先手を取り、押し出しで勝利。続く2回戦も、1回戦さながらの動きで寄り切った。3回戦では完全に力負け。佐々木は、12月に開かれる全日本小学生相撲優勝大会への出場も決めている。「スポ少のラグビーの練習と立ち合いの稽古を頑張る」。持ち前のスピードとパワーをさらに磨き上げ、8強入りを目指す。

「先輩の残した成績を、少しでも越えることが目標だった」と話す4人(写真左から、米倉冬碧(6年)、佐々木歩果(5年)、及川龍樹(6年)、熱海穂尚(6年))。県大会を2連覇し、全国へと駒を進めた。大会は、学科と安全、技能走行の3つで競われたが、結果は40位と振るわなかった。「実技では減点が少なかったけど、学科が難しかった」とキャプテンの及川は振り返る。大会が終わった後も、6年はクラブ活動に参加し、後輩を指導している。来年6年になる佐々木は「後輩たちと一緒に、練習を頑張っていきたい」と、自転車への思いは後輩たちに引き継がれた。

佐々木瑞生
登米総合
産業高3年



全国高校総合体育大会
アーチェリー競技

雨風が吹きつける悪条件の中、開かれた県総体。アーチェリー個人戦は、70m先の的に144本の矢を射ち、合計点数を競う。風と慣れない足元の感触に苦しみながらも、丁寧に矢を放ち3位に入賞した。インターハイまでは、撮影した動画で射型を何度も確認しながら、フォームを修正した。本番では、弓具トラブルに見舞われる。最後まで諦めず矢を放ったが、決勝ラウンドには進めなかった。今後は、県外の農業大学に進学を希望。「学校と実家を往復しながら、山中や草原などに設置された標的を狙う、フィールドアーチェリーを専門に続けたい」。佐々木の新たな目標に胸が膨らむ。

高橋瑞希
佐沼高3年



全国高校総合体育大会
陸上競技 走り幅跳び

目標は「6m00を跳び優勝」。高校最後の年、目標達成に向けて走り幅跳びだけではなく、三段跳びにも挑戦。幅跳びの跳躍に生かすためだ。県総体は2冠達成し、好調な滑り出しだった。「好事魔多し」。本番まで、残り1カ月で膝を負傷。「頭が真っ白。どうしていいか分からなくなった」。痛みが落ち着き、練習を再開したのは本番1週間前。「今できる最善を尽くす」。諦められず、くさらずに臨んだが予選敗退。「落ち込んだけど、下を向いていても仕方ない」。9月上旬、吉報が届いた。幅跳びと三段跳びでえひめ国体出場が決まった。「目標達成してきます」。高橋の笑顔を待っている。

多彩な催し目白押し 章太郎記念館夏祭り開催

「石ノ森章太郎ふるさと記念館夏祭り」(同記念館友の会主催)は8月19日、記念館駐車場などで開かれ、詰めかけた来場者が「石森の夏」を楽しみました。

夏祭りは、地元石森の若者グループ「石若会」のみこし練り歩き、仮面ライダーよさこいバージョンフェスティバル、石森小児童の合唱とブラスバンド演奏など、多彩なプログラムを展開。保育所「森のくまさん」(中田町石森)の園児と職員らが、「雀おどり」を初めて披露しました。森のくまさんばんだ組の伊藤叶音ちゃん(5)は「いっぱい練習した雀おどりを、上手に踊れて楽しかったです」と満足げな表情を浮かべました。



一生命元気に踊る園児らに、会場から大きな拍手が送られていました。

母なる北上川は楽し 旧北上川で川遊びを体験

「北上川川遊び体験」(県東部教育事務所登米地域事務所主催)は7月26日、石巻市桃生町の旧北上川で開かれ、市内の小中学生47人が川遊びを体験しました。

川遊び体験は、同事務所の地域活動プログラム開発事業の一環で、子どもたちの生きる力を育むことが目的。脇谷洗堰(あらいざきこうもん)から植立山河川公園までの約3kmのコースを、全長約40mの巨大いかだに乗り、川下りを楽しみました。途中で川に入り、カヌー、水上自転車や発泡スチロールなどに乗り換えて川を散策。子どもたちは、普段できない川遊びにとっても生き生きとした表情を見せていました。



いかだを止めて、浅瀬で水遊びを楽しむ子どもたち。自然との触れ合いを存分に楽しんだ1日でした。

移住するなら登米市 移住体験ツアーを初開催

「登米市移住体験ツアー」は8月26日、市移住・定住サポートセンターなどで開かれ、参加者は食や自然など本市の魅力を満喫しました。

ツアーは、移住を考えている人などを対象に本市の魅力を体感してもらい、移住・定住を促進する目的で初めて開催。千葉県や仙台市から訪れた参加者は、長沼で散策やはすまつり、移住お試し住宅の見学や夏野菜収穫を体験しました。千葉県我孫子市から参加した小野寺仁さん(40)は「以前から田舎暮らしがしたいと考えていました。登米市は、自然や住環境などが良く、移住の地にふさわしい」と本市への移住に前向きでした。



オジマスカイサービスでミニトマトを収穫し、試食する参加者。高い糖度としっかりした味に「うまい」を連発していました。

仕事は楽しく難しい 東和中生が職場体験学習

東和中学校(吉野幸信校長)2年生の「職業体験学習」は8月2～4の3日間、市内事業所の協力を得て開かれ、生徒らは仕事をする事への理解を深めました。

市役所で職場体験したのは、及川大也さんと千葉碧惟さんの2人。2日は地域コミュニティの夏祭り準備、3日は南東北インターハイボート競技会場でふるさと応援寄附金のPR、4日は総務部総務課で文書配布などの仕事を体験しました。体験後2人は「暑い中での祭りの準備は大変でしたが、感謝をされてやりがいを感じました。仕事をするには、他人への思いやりの気持ちも大切だと学びました」と振り返りました。



県外からの来場者に、ふるさと応援寄附金の説明をする生徒ら。本市の魅力を、分かりやすく伝えるのに苦労していました。

晴天の下、熱戦展開 中田でふるスポ登米大会

「ふるさとスポーツ祭登米地区大会」は8月27日、中田総合体育館などで開かれ、73チーム約560人が参加し、さわやかな汗を流しました。

スポーツ祭は、ソフトボール、ビニールバレーボール、グラウンドゴルフなどの実施種目のほか、ターゲットボードゴルフなどの公開種目を加えた5種目を実施。選手らは、地域間交流を楽しみながら、熱戦を繰り広げました。グラウンドゴルフに出場した西條喜美江さん(72)＝豊里町仲町＝は「競うだけでなく、他の地域の人たちと交流もできて楽しい。来年も出場できるよう頑張りたい」と意気込んでいました。



近年、競技人口が増えているグラウンドゴルフ。打ち損じに思わず「ああっ」という声が出ていました。

不戦の誓い次世代に 祝祭劇場で戦没者追悼式

「登米市戦没者追悼式」は8月18日、登米祝祭劇場で開かれ、遺族など約400人が参列し、恒久平和を誓いました。

黙祷後、熊谷盛廣市長は「私たちは恒久平和を強く求め、二度と悲惨な歴史を繰り返さないよう、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に継承していかなければなりません」と式辞を述べました。来賓の追悼のことはに続いて、参列者全員が献花をし、静かに手を合わせ戦没者3529人の冥福を祈りました。齋藤昇さん(79)＝追町新町＝は「父や戦没者には安らかに眠ってほしい。平和が当たり前の中にも」と手を合わせました。



白菊を備え、手を合わせる参列者ら。恒久の平和への誓いを新たにしました。

Information 01

自分たちで思い出つくる
成人式実行委員を募集



平成30年成人式を開催します。開催に当たり、式の運営に協力いただける実行委員を募集します。

【日時】平成30年1月7日(日)午後1時開式(受け付け11時前11時30分/午後0時30分)
【会場】登米総合体育館(とよま蔵ジヤム)
【対象】平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた人で①市内の中学校を卒業した人②平成29年9月1日現在、市内に住所を置いている人③①②以外で市成人式に出席を希望する人(要募集します)。

Information 02

市スポーツまつりを開催
(マイヤーズウオークも同時開催)

市民誰もが参加できるイベントです。話をしながら、長沼ダムを眺められるコースを歩いて、楽しい時間を過ごしませんか。

【日時】10月9日(月・祝)午前9時開会
【場所】北方小学校校庭(北方公民館向い)
【内容】ふるさとウォーキング
①ウォーキング②ノルディックまたはポールウォーキング(用具は貸し出します)
ターゲットバードゴルフなどのスポーツ体験、健康づくり情報、スマートフォンアプリ「登米市オリジナル歩き旅」の紹介コーナーもあります。
※参加者には、適塩に配慮した健康とん汁を提供します。

Information 04

みんなの食育学習会 in
登米を開催します

日頃の食生活を見直し、家族の健康を守るため、大塚製薬、ウジエスパーと共催し、食育学習会を開催します。終了後は、個別相談会も実施しますので、ご参加ください。

【日時場所】●11月14日(火)午前10時～11時30分/石森ふれあいセンター●11月15日(水)午後1時30分～3時/豊里公民館●11月18日(土)午前10時～11時30分/迫公民館
【申し込み方法】①ウジエスパー店頭②健康推進課まで電話、メール(参加希望日も入力)でお申し込みください
【申し込み期間】10月1日(日)～11月5日(日)
【参加費】無料
【問い合わせ】市民生活部健康推進課(地域保健係)
☎0220(58)2116
✉ kenkosuisin@city.tome.nivag.jp

Information 05

あなたを待っています
養育里親になりませんか

里親とは、さまざまな理由から親と一緒に暮らせない子どもを、家庭に迎え入れ、温かい雰囲気の中、愛情と真心を持って育ててくれる人といえます。

子どもを預かる期間は、数日から数年までとさまざまです。児童養護施設などに入所している子どもを、夏休みや冬休みの数日間だけ預かることもできます。詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】福祉事務所子育て支援課(児童福祉係)
☎0220(58)5562
県東部児童相談所
☎0225(95)1121
みやぎ里親支援センター(けやき)
☎022(718)1031

Information 06

市医療局職員を募集

募集職種	採用予定人員	受験資格
看護師	10人程度	(免許保有者) 昭和43年4月2日以降生まれの人 (免許取得見込者) 昭和53年4月2日以降生まれで、平成30年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人 ※長期勤続によるキャリア形成の観点から応募資格に年齢制限を設けています
薬剤師	4人程度	薬剤師の免許を持つ人、または平成30年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人
臨床検査技師	3人程度	臨床検査技師の免許を持つ人、または平成30年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人
臨床工学技士	2人程度	臨床工学技士の免許を持つ人、または平成30年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人
社会福祉士	2人程度	社会福祉士の資格を持つ人、または平成30年3月31日までに卒業見込みで資格取得見込みの人

【職種、採用予定人員など】
【受験申し込み】 申込書は、医療局総務課で配布します。郵便で請求する場合は、封筒の表に「応募職種名」、「採用試験申込書請求」双方を朱書きし、宛先を明記して120円切手を貼った返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください
【合格から採用までの手続き】 ①合格者は任用候補者名簿に登録し、登録者の中から採用者を決定します。合格者全員が採用されるとは限りませんのでご注意ください ②採用は平成30年4月1日(資格・免許取得見込みについては5月1日)の予定です。ただし、資格・免許を持つ人は平成30年4月1日以前に採用する場合があります

【受付期間】 9月20日(水)～10月4日(水)
【試験日程】

日程	
試験日	10月15日(日)
会場	登米市民病院 地域医療連携センター(多目的ホール)
試験内容	小論文試験(1時間)、人物試験、健康診断、資格調査
合格発表	10月27日(金) 市ホームページに受験番号を掲示するとともに、合格者に郵送で通知します。

【申し込み・問い合わせ】
医療局経営管理部総務課(人事係)
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼下田中25(登米市民病院内) ☎0220(44)4795

Information 03

子どもたちを地域で育てる
ファミサポ事業協力会員を募集

※対象者には、11月下旬に案内状を送付しますので、式当日に必ずご持参ください(案内状が12月中旬までに届かない場合は、お問い合わせください)
【実行委員の募集】 実行委員の活動は、月1回程度です。実行委員として協力いただける場合は、10月3日(火)まで事務局に電話(平日午前9時～午後5時)で申し込みください
【問い合わせ】 教育委員会教育部生涯学習課(生涯学習推進係)
☎0220(34)2698

当日は、第7回マイヤーズウオーク(市長と歩こう)も同時開催
【参加費】 無料
【問い合わせ】 登米市スポーツまつり実行委員会(中田総合体育館内)
☎0220(34)7302

ファミリリーサポートセンター事業は、「子育てを助けてほしい人(利用会員)」と「子育てを手伝える人(協力会員)」がそれぞれ会員登録し、地域ぐるみで子育てを支援します。
そこで、子育てを手伝える人(協力会員)を募集しています。
●協力会員になるためには
○市内に居住している心身ともに健康な20歳以上の人が
○自宅で安全にお子さんを預かることができる人が
○市が主催する協力会員講習会を受講した人が
●協力会員講習会
【日時】 10月5日(木)午前10時30分～午後3時15分
【場所】 南方庁舎2階(中会議室)
【申し込み方法】 電話で申し込みください
【申し込み期限】 10月2日(月)
【受講料】 無料
【申し込み・問い合わせ】 登米市ファミリリー・サポート・センター事務局(南方子育てサポートセンター内)
☎0220(58)5558



■講習会の時間と内容

時間	内容
午前10時15分～10時30分	受付
午前10時30分～12時	講義1 子どもの事故、事故防止、応急処置について
正午～午後1時	昼食休憩
午後1時～1時15分	講義2 登米ファミリー・サポート・センター事業の説明
午後1時15分～2時15分	講義3 子どものかかわり方(講話)、遊び方(実技)
午後2時20分～3時	講義4 子どもの心と身体の発達について
午後3時～3時15分	閉会・諸連絡など

Information 07

若い年代の家賃など新生活を応援
住まいのサポート

市内に転入し、民間住宅などを賃借した夫婦(どちらかが40歳未満の場合)の家賃を助成します。

【対象者】①28年1月1日以降に市内に転入し、アパートなどの民間住宅を賃借したどちらかが40歳未満(転入日時点、ただし、28年1月1日)は、28年4月1日時点)の夫

※申請の方法など詳細は、お問い合わせください

【補助金額】民間住宅(公的賃貸住宅、官舎、社宅、社員寮は対象外)の家賃から、住宅手当相当額を控除した家賃の2分の1(月額1万5千円が限度)。今回は、29年4月から9月までの家賃支払実績に基づいて補助金を交付します

【申請期間】10月2日(月)～10月31日(火)

【URL】<http://www.city.tome.miyagi.jp>
<http://www.city.tome.miyagi.jp/curashi/ju-teijuh.html>

Information 08

古文に触れて歴史を学ぶ
古文書解読講座を開催



古文書講座を開催します。

【開催日】10月5日・12日・19日・26日(毎週木曜)

【時間】午前9時30分～11時30分

【場所】登米公民館(2階会議室)

【教材費】500円 ※初回参加の際にご持参ください

【内容】資料の解読と歴史的背景の解説など

●第1回・御金堀人数改帳

●第2回・切支丹宗門改帳

●第3回・戊辰戦争御軍用記録

●第4回・登米県庁宛出火焼失届

【講師】後藤悦雄氏(登米市文化財保護委員)

【申込方法】電話

【申込期限】9月29日(金)

【申し込み・問い合わせ】登米図書館

☎0220(52)5330

Information 09

弾道ミサイル発射時は
落ち着いて行動を

現在、北朝鮮は、弾道ミサイルを繰り返し発射しており、日本は、その被害を受ける恐れがあります。弾道ミサイルが発射された場合、極めて短時間で到達することが予想されます。

弾道ミサイル落下の可能性があるときに、全国瞬時警報システム(Jアラート)を通じて、防災行政無線で特別なサイレン音とメッセージを流します。

また、緊急速報メールなどで緊急情報をお知らせしますので、落ち着いて行動してください。

【メッセージが流れたら、直ちに次の行動をとってください】

○屋外にいる場合

▼近くのできるだけ頑丈な建物や地下に避難する

▼近くに適切な建物が無い場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る

○屋内にいる場合

▼できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する

【近くに弾道ミサイルが落下したら、直ちに次の行動をとってください】

○屋外にいる場合

▼口と鼻をハンカチなどで覆い、直ちに現場から離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する

○屋内にいる場合

▼換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する

※武力攻撃やテロなどから身を守るために、どのような行動すべきかについては、内閣官房の「国民保護ポータルサイト」に掲載されていますのでご確認ください。また、サイレン音を試聴できます

【URL】<http://www.kokuminhogo.go.jp/>

国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために

URL: http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryu/hogo_manual.html

首相官邸ホームページ

ミサイル落下時の政府対応 URL: www.kantei.go.jp

町域	委員	開催日	時間	開設場所
迫	齋藤 輝雄	10月5日(木)	10:00～12:00	迫老人福祉センター
		10月12日(木)	10:00～12:00	新田公民館
		10月17日(火)	10:00～12:00	森公民館
登米	金田 義晴	10月20日(金)	10:00～12:00	登米老人福祉センター
東和	齋藤 勉	10月19日(木)	9:30～11:30	東和総合支所相談室
			13:30～15:30	米川公民館
		10月20日(金)	9:30～11:30	米谷公民館
			13:30～15:30	錦織公民館
中田	千葉 裕子	10月17日(火)	13:30～15:30	石森ふれあいセンター
		10月19日(木)	13:30～15:30	浅水ふれあいセンター
		10月20日(金)	13:30～15:30	中田老人福祉センター
豊里	佐々木 豊	10月10日(火)	9:30～11:30	豊里高齢者趣味の交流館
米山	柳 亨	10月10日(火)	9:30～11:30	米山総合保健福祉センター
石越	松浦 耕治	10月16日(月)	10:00～12:00	石越総合支所ボランティア室
南方	佐々木菊枝	10月10日(火)	13:30～15:00	南方農村環境改善センター
津山	山形 利文	10月27日(金)	9:30～11:30	津山老人福祉センター

Information 10
行政に関する相談
所を開設します

行政相談は、国や県、市などへの意見、要望などの相談に応じ、その解決や実現をお手伝いするものです。

市は、右記の日程で特設行政相談所を開設します。行政相談委員が皆さんの相談に無料で応じます。お気軽にご利用ください。

【問い合わせ】総務部総務課(総務法制係)
☎0220(22)2091

Information 11

地域の憩いの場を建築・改修
安全・安心に利用するために費用を補助します



30年度に実施する、地域の集会所施設建設や改修費用の一部を補助します。

【対象事業】①集会所施設の建設および購入②施設の修繕および模様替え(バリアフリー化を含む)、増築

【補助率・限度額】補助対象経費の2分の1以内で①新築Ⅱ1千万円②修繕、模様替えなどⅡ250万円

【対象外経費】①門、柵、植樹など

どの附帯工事費および購入費②用地の取得費③既存建物の解体費④備品費など

【受付期限】30年度事業分の要望Ⅱ10月31日(火)

※事前にスケジュールや対象経費などについてご相談ください。

【申し込み・問い合わせ】企画部市民協働課(市民活動支援係)

☎0220(22)2173

Information 12

「ネギからはじまる...」
登米市青年交流事業参加者を募集

市青年団連絡協議会主催の事業参加者を募集します。ぜひ、ご参加ください。

【日時】11月3日(金・祝)午前9時～午後3時(雨天決行)

【場所】伊豆沼農産・相澤農園(迫町新田)

【対象】①市内在住の20～40歳までの男女②市内を主な活動拠点とする20～40歳の男女

(定員40人)

【内容】ネギ収穫体験、はつと作り、パーベキューなど

【参加費】2千円

【申し込み期限】10月20日(金)

【申し込み・問い合わせ】教育委員会教育部生涯学習課(生涯学習推進係)

☎0220(34)2698
FAX0220(34)2504



市長への手紙

平成31年8月31日までお送りください。

☎登米市総務部市長公室 0220-22-2090 FAX 0220-22-9164

切りとり

のりしろ

料金受取人払
佐沼郵便局 承認
521
差出有効期間
平成31年8月31日まで
(郵便切手はいりません)

9870595

登米市役所
登米市長 熊谷 盛廣 行

登米市迫町佐沼字中江二丁目六番地一

市長への手紙

市では、市民の笑顔あふれる登米の実現のため、市民の皆さんから市政へのご意見やご提案をお寄せいただきたいと考えています。
ご意見ご提案をお寄せいただくときには、裏面にご記入の上、切り取り線の通りに切り取り、のり付けしてご郵送してください。
また、ファクシミリでも受け付けますので、裏面にご記入の上、そのまま送信してください。

氏名 住所

のりしろ

切りとり

Information 13

宝くじの助成事業で 鼓笛隊セットを購入

消防本部は、幼年期から防火の正しい知識を身に付けてもらうため、ドラムやシンバルなどの幼年消防用鼓笛隊セットを購入しました。
購入に当たっては、一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業の助成を受けています。

鼓笛隊セットは8月17日、認定子ども園さくら幼稚園(片岡大助園長)に贈呈され、各種イベントや防火思想の普及に活用されます。
【問い合わせ】消防本部予



防課(予防建築係)
☎0220(22)1900

Information 14

男女共同参画の施策に関する推進状況について

だれもが生き生きと暮らせる登米市男女共同参画推進条例に基づき、28年度の男女共同参画の推進に関する施策の推進状況を公表します。
各総合支所に「平成28年度男女共同参画の施策に関する

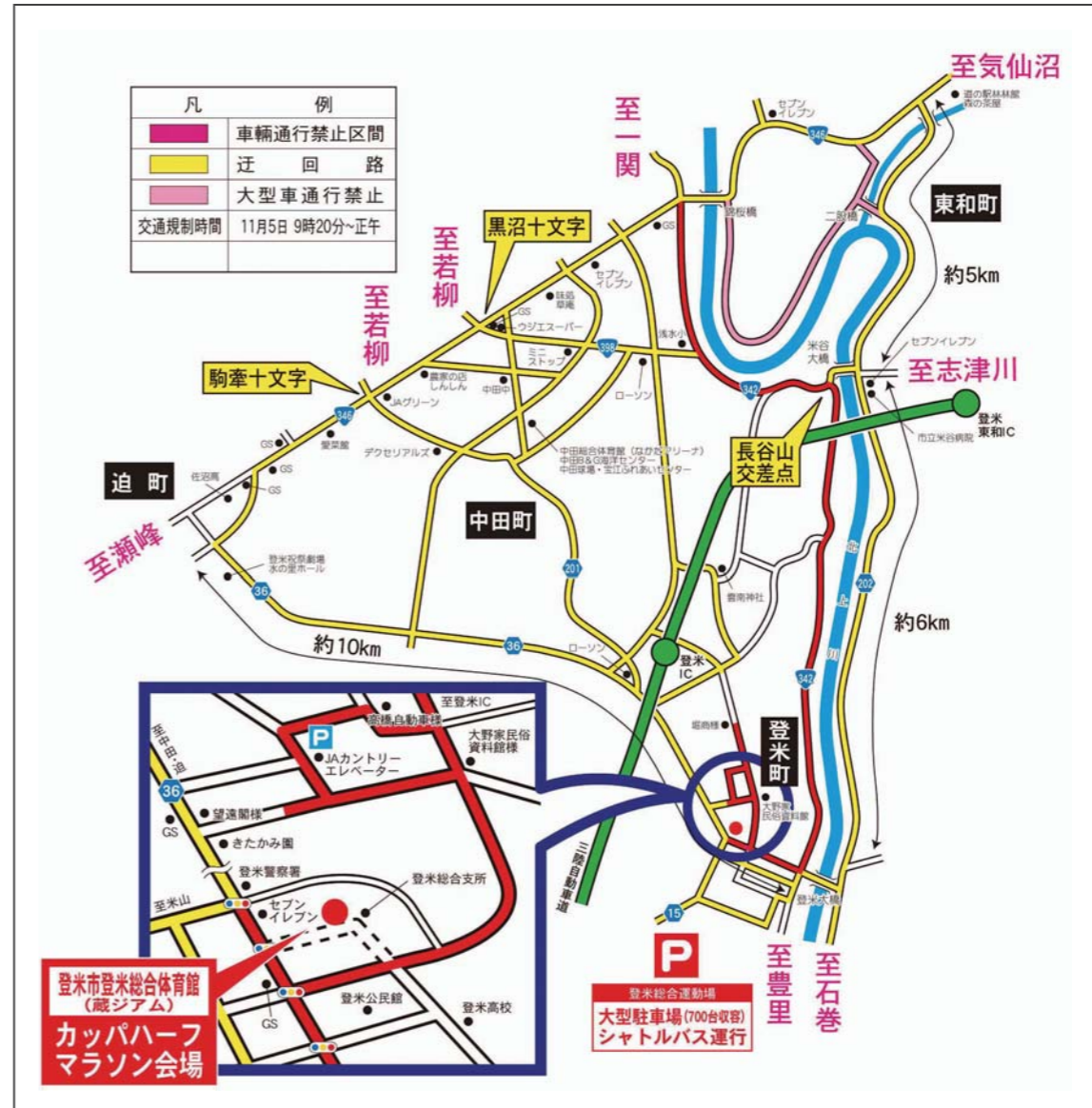
推進状況報告書」を設置しますので、ご覧ください。
また、市ホームページにも掲載しています。
【問い合わせ】企画部市民協働課(市民活動支援係)
☎0220(22)2173

Information 15

第32回カップハーフマラソン 交通規制のお知らせ

左記のとおり交通規制しますので、ご注意ください。

【開催日】11月5日(日)
【規制時間】午前9時20分～正午



登米市がん特別講演会



樋野 興夫 氏
の さん
 順天堂大学医学部(病理・腫瘍学)教授
 島根県生まれ、順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座教授。医学博士。米国アイシユタイン医科大学肝臓研究センター、米国フォックスステュースがんセンター、癌研究会・癌研究所実験病理部部長などを経て現職。2008年「がん哲学外来」を開設。日本癌学会奨励賞など受賞。

がんは身近な病気であり、がんと共存する時代となった今、大切な人と共に考えてみませんか。

【日時】10月26日(木)
 午後6時30分～
【場所】ホテルニューグランヴィア
【内容】
 テーマ「病気であっても、病人ではない」
 ～がんばりすぎない、悲しみすぎない～
 講師 順天堂大学医学部(病理・腫瘍学)
 教授 樋野 興夫 氏
【入場料】無料(申し込み不要)
【主 催】登米市医師会・登米市民病院地域医療連携室・登米地区地域医療対策委員会・宮城県登米保健所・登米市
【問い合わせ】宮城県登米保健所
 ☎0220(22)7514

「相談ください」
 認知症専門相談

高齢者で「最近物忘れが多くなった」「元気がなくなつてもやろうとしなくなつた」など、気になる症状がありましたらご相談ください。精神科医が相談に応じます。相談は予約制です。事前に関地区域包括支援センターか、ケアマネジャーにご連絡ください。

【日時】10月27日(金) 午後1時30分～
【場所】市役所南方庁舎(1階相談室)
【予約・問い合わせ】各包括支援センター、各包括支援センター分室、または福祉事務所長寿介護課(長寿社会係)
 ☎0220(58)5551
 へお問い合わせください。

10月のこころの相談

日	場所・受付時間・担当
2 月	津山ふれあいセンター 13:30～15:30 ☎0225(68)3114(津山総合支所)医師
4 水	豊里公民館 13:30～15:30 ☎0225(76)4113(豊里総合支所)カウンセラー
17 火	石越総合支所 13:30～15:30 ☎0228(34)2113(石越総合支所)医師
30 月	南方保健センター 13:30～15:30 ☎0220(58)2113(健康推進課)精神保健福祉士

精神科医師などが相談に応じます(要予約)。不明な点は各総合支所市民課に、南方地区の皆さんは、健康推進課にお問い合わせください。

登米市民病院小児科日曜日救急診療

●診療時間 9:00～17:00(受付16:30まで)
【問い合わせ】登米市民病院
 ☎0220(22)5511

10月の献血日程

1日(日)
 ▶迫体育館(登米市産業フェスティバル会場内)
 10:00～12:00
 13:00～15:00
7日(土)
 ▶イオンタウン佐沼
 10:00～11:45
 13:00～16:30
15日(日)
 ▶イオンタウン佐沼
 10:00～11:45
 13:00～16:30

※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市ホームページをご覧ください。下記にお問い合わせください。
【問い合わせ】
 市民生活部健康推進課(健康推進係)
 ☎0220(58)2116

登米いのち
 ホットテレホン
はなそう とも
 ☎0120(870)108
 (登米市民専用)

登米いのちホットテレホンは…
 ○24時間いつでもかけられます。
 ○名前を名乗る必要はありません。
 ○電話相談員は、2年間の研修を終了し、認定された人たちです。
 ○固定電話のほか、携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

子ども夜間安心コール

●電話番号
 #8000
 (プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
 ☎022(212)9390
 (プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
 ●相談時間
 毎日午後7時～翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)
 ☎0229(24)2267

市長への手紙

ファクシミリの場合は切り取らず、ご記入の上、そのまま送信してください。

市長への手紙 行

FAX 0220-22-9164

☎登米市総務部市長公室 ☎0220-22-2090

切りとり

のりしろ

谷折り

切りとり

市長への手紙

_____について

お名前		年齢	歳	性別	男・女
おところ	〒 登米市				
電話番号					

※住所、氏名などの必要事項を必ずご記入ください。個人が特定できない投稿は、回答しない場合がありますのでご了承ください。お寄せいただいた内容は、氏名を伏せて広報紙やホームページに掲載する場合があります。掲載に当たっては、一部要約することもありますのでご了承ください。

谷折り

のりしろ



豊里

よさこいチーム老人施設慰問

北海道から「YOSAKOI & ねぶた in とよさと」に招待したチーム北海道大学「縁」とコンサフリーク〜北海道武蔵女子短期大学〜は8月5から6日、市内の老人ホームを慰問し、よさこい演舞を披露しました。
慰問は、学生から入居者に演舞を楽しんでもらいたいと申し出があり実現。「北海道 YOSAKOI ソーラン祭り」で上位の学生たちの派手なパフォーマンスと迫力ある演舞に、入居者らは大きな拍手を送りました。

プロがあなたの生活お手伝い

登米市建設職協同組合米山支部会員は7月23日、事前に申し込みがあった高齢者世帯を訪問し、建具の調整、電球の交換、包丁研ぎ、障子の張り替えなどをボランティアで手伝いました。
活動は年1回実施しており、今年で5回目。18人の会員が6班に分かれ、29世帯でそれぞれ作業しました。依頼者は、プロの作業で新しくなった障子などを見て、「大変助かりました」と感謝していました。



米山



石越

世代越え白熱した試合が展開

「石越町剣道サマーフェスティバル」は8月6日、石越体育センターで開かれ、町内の剣道愛好家が、世代を超えて交流しました。
催しは、小学生から大人まで剣道に親しむことを目的に開催しており、今年で9回目。小学生と保護者の親子対決、小学生から一般までの混合4人チームによる団体戦が組まれ、参加者は日頃経験できない対戦を楽しみながら、白熱した試合を繰り広げました。

もっこり牛丸焼きに長蛇の列

南方産牛のPRと消費者との交流が目的の「もっこり牛まつり」は8月14日、南方総合支所前で開かれ、多くの人でにぎわいました。
目玉である、南方産のもっこり牛の丸焼きには、配布前から長蛇の列。約千人前を無料で振る舞いましたが、わずか数分でなくなりました。来場者は、バーベキューやカレーなど、南方産の食材を味わい、民謡などのステージイベントや輪投げなどで、楽しい一日を過ごしました。



南方



津山

街の歴史伝える懐かしい写真

「津山宝 発掘写真展」は8月5から19日まで、道の駅津山「もくもくランド」で開かれ、約1400人の来場者が会場を訪れました。
写真展は、地域住民から提供された写真178点を展示。特別展として、現在と過去の陸前横山駅の写真を展示しました。明治から昭和にかけての街並みや当時の暮らしを物語る写真などが展示され、来場者は当時の情景を懐かしみながら、興味深く眺めていました。

9 TOWNS TOPICS

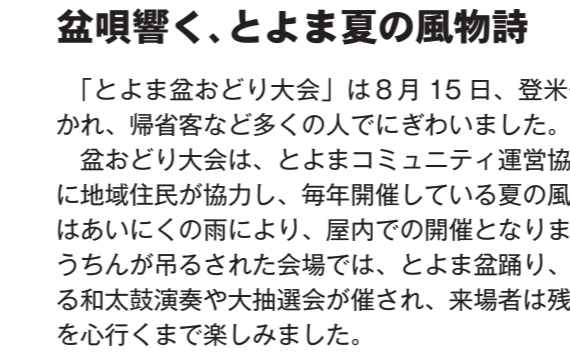
9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

始まりは元気に「おはよう」

「迫地区あいさつ運動」(青少年のための登米市民会議迫支部主催・小林富雄支部長)は8月28日、迫町内の小中学校で実施され、運営委員や地区推進員ら約50人が、登校する児童生徒とあいさつを交わしました。
運動は、青少年が明るい希望に向かって、健やかに心身共にたくましく成長することが目的。声を掛けられた子供たちは、大きな声で「おはようございます」とあいさつし、一日の始まりを元気にスタートさせました。



盆唄響く、とよま夏の風物詩

「とよま盆おどり大会」は8月15日、登米公民館で開かれ、帰省客など多くの人でにぎわいました。
盆おどり大会は、とよまコミュニティ運営協議会が中心に地域住民が協力し、毎年開催している夏の風物詩。同日はあいにくの雨により、屋内での開催となりました。ちょうちんが吊るされた会場では、とよま盆踊り、桜乃会による和太鼓演奏や大抽選会が催され、来場者は残り少ない夏を心行くまで楽しみました。



登米



東和

自然満喫しながら楽しく交流

「あそびの探検隊隠れキリシタンの里であそぼう！」(青少年のためのあそびの探検隊、東和町子ども会育成協議会主催)は8月19から20日まで、米川綱木親和会館で開かれ、小学生やジュニアリーダーら約20人が参加しました。
子どもたちは、流しそうめんの資材や食器の製作、近隣農家から食材を調達してカレー作り、スイカ割りなどを楽しみ、夜は室内でキャンドルサービスなどをして交流を深めました。

多くの仲間とまた会う日まで

中田地区5小学校6年生の交流合宿「八ん子かっぱ村」は、8月5から7日まで、国立花山青少年自然の家で開かれ、118人が参加しました。
かっぱ村は、中学校入学前の仲間づくりと、小学校最後の夏休みの思い出づくりが目的。沢登りやキャンプファイヤーなどで交流を深めました。橋柁くん=加賀野小=は「滝ジャンプがとても楽しかった。他校の友達がたくさんきたので、中学校で再会するのが楽しみ」と話していました。



中田

9月1日までの3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



猪狩 桜大くん (追町鉄砲丁)	岩井 晴香ちゃん (追町鉄砲丁)	大場 勇翔くん (追町新町)	小寺 拓実くん (追町中江)	亀井 和斗くん (追町大綱南)	北浦 悠央くん (追町西表)	工藤 琉翔くん (追町萩洗)	佐藤ひなたちゃん (追町駅前)
佐藤 菜白ちゃん (追町大綱南)	佐々木愛菜ちゃん (追町上舟丁)	鈴木 春華ちゃん (追町古宿)	鈴木 陽大くん (追町赤沼)	富塚 晴央くん (追町江合)	星 明里ちゃん (追町品の浦)	三浦奈々美ちゃん (追町永田)	三浦 陸くん (追町泥内)
名生 新くん (追町泥内)	米倉 朝陽くん (追町平柳)	及川 うたちゃん (中田町南加賀野)	熊谷 杏奈ちゃん (中田町大柳)	佐藤 颯磨くん (中田町茶畑)	菅原 楓雅くん (中田町大柳)	鈴木 創喜くん (中田町弥勒寺南)	武田 梨那ちゃん (中田町南加賀野)

生涯おいしく楽しく健康に

歯周病検診を受けましょう

市は、節目の年代を迎える人を対象に、歯周病検診を実施しています。

歯周病になると、よくかめなくなったり、歯周病菌が歯ぐきの血管から感染し、脳卒中、がん、心臓病などの生活習慣病や肺炎など、体にさまざまな影響を及ぼします。昨年度の受診結果によると、7割の人が精密検査の対象者でした。

健康な生活を送るために検診を受け、口腔状態を確認しましょう。

【検診期間】 平成30年1月31日まで

【対象者】 本年度31歳・40歳・50歳・60歳・70歳の誕生日を迎える人

【検診費用】 無料

【受診方法】 市内協力医療機関に予約の上、「歯周病検診受診券」を持参し、受診して下さい。受診券は、対象者に送付しています。

【申し込み・問い合わせ】

市民生活部健康推進課(健康推進係)

☎ 0220(58)2116



野家 菜奈ちゃん (中田町本町畑中)	富松 真温ちゃん (豊里町下町)	斉藤 颯真くん (米山町猪込)	千葉 結愛ちゃん (米山町千貫)
岩淵 陽くん (石越町第十二)	佐藤進次郎くん (石越町芦倉)	菅原なずなちゃん (石越町第十二)	尾形 美夢ちゃん (南方町大門)
尾上 斗馬くん (南方町峯)	小山 凜ちゃん (南方町北本郷)	鎌田穂乃花ちゃん (南方町峯)	鈴木 杏菜ちゃん (南方町北本郷)
田代 藍終くん (南方町若野谷地上)	田村 優陽くん (南方町畑岡)	千葉 悠愛ちゃん (南方町北本郷)	

むし歯がなかった子は、市内9地区で62人中39人でした

今月は中田図書室です

一般向け

PICKUP_04 名字でわかるあなたのルーツ



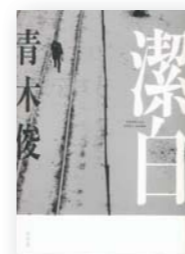
森岡 浩/著
奈良の「高橋」にちなむ朝廷の料理番「高橋」、水軍で知られる大阪発祥の一族「渡辺」……。約2500の名字のルーツを解説します。

PICKUP_05 はっか油で楽しむ暮らしのアイデア



重松 浩子/監修
ハッカ油は便利な素材。自宅で化粧水、キッチンスプレー、ドリンク、入浴剤など、色んなものが作れます。シンプルで心地よい毎日を。

PICKUP_06 潔白



青木 俊/著
30年前に小樽で発生した母娘惨殺事件に、前代未聞の再審請求が起こされた。執行済みの死刑がもし誤判だったら。司法の威信をかけた攻防の行方は。

●Library Topics

みんなの図書館

～利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします～

登米図書館の雑誌を差し上げます

登米図書館は、知識や教養、文化の向上や資源を有効活用するため、閲覧期間が過ぎた雑誌を希望者に無料で提供します。提供する雑誌は、料理、手芸、ライフスタイル情報誌などです。

この機会に、いろいろな雑誌をご覧いただき、お気に入りのものをお持ち帰りください。

【開催期間】 9月29日(金)、30日(土)

午前11時～午後1時

【場所】 登米公民館(1階談話室)

【対象資料】 約400冊

【提供冊数】 1人5冊まで(雑誌を持ち帰る袋をご持参ください)

【問い合わせ】 登米図書館 ☎ 0220(52)5330

子ども向け

PICKUP_01 からだ事件簿



坂井 建雄/監修
止まらない胸のドキドキ、ママのお腹がへこまない、風邪でぐったり……。『からだ探偵』が、体の中で起こる不思議な事件をズバリ解決します。

PICKUP_02 季節の食べものクイズ 絵本12カ月



角 慎作/絵、月刊「学校給食」編集部/文
年中行事の由来や野菜、果物、魚の栄養などを、分かりやすい文章と写実的な絵で解説します。

PICKUP_03 きょうりゅうオーディション



たしろ ちさと/作
劇団・ペナトルが恐竜オーディションを開催。トリケラトプス、ステゴサウルスなど、いろいろな恐竜たちがやってきて特技を披露しますが……。



- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など(中田図書室は祝日も開室)
※その他、館内整理など不定期での休館もありますのでお問い合わせください
- 問い合わせ 追 図書館 ☎ 22-9820
登米図書館 ☎ 52-5330
中田図書室 ☎ 34-8081

This Month Pick Up Hot Communication

☑ Books

☑ Health

☑ Young

☑ Dream

☑ Child

☑ Half Century

☑ One's Home



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

主藤 美咲さん

しゅうとう・みさき 錦織小6年
東和町・錦織3区

読書が大好き
本に囲まれた仕事がしたい

私の将来の夢は、本に携わる仕事をする
ことです。

私は、小説、物語、伝記や漫画などの本
を読むことがとても大好きです。どんな本
でも、ストーリーを想像しながら読むと、
主人公になった気分になり、ワクワクする
からです。

本に携わる仕事といっても、たくさんあ
るので迷っています。

書店や図書館で働くこと、小説家、漫画
家、校閲、編集者など、いろいろな仕事
があるからです。

これからも好きな本をたくさん読んで
り、本に携わる仕事について調べたりして、
将来に役立てたいです。

Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



最近、たくさん笑っ
てくれて、笑顔が
いっぱい。早く、お
兄ちゃん、お姉ちゃ
んと遊べるようにな
りたいね！

赤坂 拓哉くん(4カ月)
2017年5月16日生まれ
中田町・加賀野一
悠さんの次男



いい笑顔が撮れた
ね。佐沼夏祭りで
アロハ気分！

富士原 圭十くん(1歳)
2016年3月19日生まれ
米山町・森腰
真悟さんの長男

Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

榊原 健さん(26)

さかきばら・けん
東和町・米谷6区

- ★身長と血液型 168センチでB型です。
- ★現在は 自営で塗装業をしています。高
校を卒業して、すぐこの仕事に就きまし
た。最近少しずつですが、仕事を任される
ようになってきました。いつも心掛けてい
るのは、丁寧に塗装し、きれいに仕上げ
ること。完成した外壁を目の前になると達成
感があり、仕事をしてきてよかったと思
います。いつかは、親方である父を越えたい
ですね。父が築いた信用を守りながら、一
つずつ受け継いでいきたいと思っています。
- ★自分の性格 よくも悪くも、一つのこ
とに集中するタイプ。何事にも没頭してし
まうんですよね。
- ★趣味は 音楽が好きで、よく友達と一緒
にライブに行きます。西野カナさんや湘南
乃風を聴いています。
- ★理想の女性像 明るく家庭的な人がいい
ですね。
- ★休日は 田んぼの草刈りは、かかせませ
ん。それと月1回は同級生たちと集まって、
バーベキューをしています。消防団に入っ
ているので、火の取り扱いには常に気配り
を。団員として、消火訓練や夜間に巡回活
動をしています。団の先輩がいろいろ指導
してくれるので、学ぶことがたくさんあり
ますね。訓練でも実際の現場を想定し、先
を読んで行動するよう心掛けています。
- ★今やってみたいこと いつか時間を気に
しないで、海釣りをしてみたいですね。
- ★登米市について一言 自然豊かで、空気、
水がおいしい米所。優しい人が多く、住ん
でいて心が落ち着くまちだと思います。



～「わが家のアイドル」を募集～

3歳までの子どもたちを募集しています。ご家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
＜応募方法＞①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦
コメント(50字程度)⑧写真データを添付し応募してください <応募先>総務部市長公室広報広聴係
〒987-0511 追町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp 電子申請:
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=212ldolMyHome>

電子申請 QR コード





佐藤 薫さん(82) 澄子さん(80) 東和町・錦織4区 1957(昭和32)年3月入籍

普通に過ごせるのが一番いい

★二人のなれ初めは 【薫】どこへ行くがも分かんねで、仲人と中田町の上沼まで自転車で行って、おばあさんを紹介してもらったよ。 ★お互いの第一印象は 【薫】おとなしい感じの人だと思っただけ。 【澄子】気持ちが落ち着いて、優しい人だと思っただよ。私の母親がおじいさんのことを知って、勧められたの。 ★結婚当時の思い出は 【薫】当時は、新婚旅行さ行けなくてじゃ。知人と一緒だけど、20年前におばあさんをニュージランドと連れただよ。 【澄子】家族みんないい人たちで、暮らしやすかったよ。孫ができてからは、孫の出る野球観戦が楽しかったの。孫が載った新聞記事やチラシは、今でも私の宝物。 ★好きなテレビ番組は 【薫】夏の高校野球だなや。 【澄子】朝ドラの「ひよっこ」を見るのが楽しみだ。 ★夫婦円満のコツは 【澄子】語ることは語って、言い合になったら、私が我慢すればいいんだ(笑)。 【薫】いづまでも、のつぱんねえごどがな。時間たつど、お互いべそつとなつから(笑)。長い人生いろいろあつけど、普通に過ごせるのが一番いいなや。

One's Home

ふるさとへの思い

「サーカスの少女」

あれは中学1年の秋頃でした。木下サーカスがやってきて、登米の北上川沿いの原っぱに、丸型の大きなテントを張りました。初日は、宣伝楽隊が町を練り歩きます。トラムペット、クラリネットやドラムで、おなじみの曲「天然の美」を奏でながら。 興業2日目、学校から帰ると、私の家にサーカス団の人氣スター、夕子ちゃんが茶の間にいて驚きました。空中ブランコの練習中にけがをし、薬屋だった私の家で治療をしていたのです。紫色に腫れた足は痛々しいのに、夕子ちゃんは問題ないと言います。「サーカスを見に来てくれる

伊藤 新平さん(82)

東京登米会監査役 登米町(三日町)出身



人の歓声と拍手が嬉しいから頑張れるの。披露した演技がみんなに喜んでもらえた時、私は一番幸せなよ」と招待券をくれました。 翌日、招待券を手にサーカスへ。テントの中は、すでに観客でいっぱいでした。曲芸師と観客を区切るのは、黄色のロープだけ。演じる側と見る側が一体となって盛り上がっています。夕子ちゃんの空中ブランコが始まりました。夕子ちゃんの白い肢体が宙を舞い、美しい弧を描きます。左手はブランコをしっかりと握り、右手を振って声援に応えていました。大きい歓声も同時に沸き、拍手の音がいつまでも鳴り続けました。あの時の夕子ちゃんの幸せそうな笑顔は、今でも忘れられません。 3日間の興行が終わり、サーカス団はさらに北へ向かいます。トラック数台に、人も動物も一緒に乗り込み、天然の美を奏でながら、町を去っていきました。 その後も、秋には必ず木下サーカスがやってきて、戦後の沈滞ムード漂う静かな田舎町に、賑わいと活力をもたらしてくれました。少年の心に、杏色のロマンを残した古里の懐かしい思い出です。

おらほの産直

農産物直売所 「産直なかだ愛菜館」



「いつでも新鮮で安全な野菜や米を豊富に取りそろえています」と笑顔で迎えてくれるスタッフの皆さん



中田サンファームで製造している「しそくるりん」もおススメ

今月は、農産物直売所「産直なかだ愛菜館」の志田政彦店長にお話を伺いました。 Q今の時期、おススメ商品を教えてください 当館一押しはキュウリはもろろん、これからの季節、芋煮会にかかせない白菜やサト

イモなどの野菜が並びます。 10月末には、ひとめぼれ、ササニシキ、つや姫、コシヒカリやみやこがね(餅米)などの新米を入荷予定。店内で、みやこがねを使った杵つき餅を販売していますので、ご賞味ください。 また、週に1回入荷する、中田サンファームで製造しているしそ巻「しそくるりん」もおススメですよ。 Q今後開催されるイベントを教えてください 10月28、29の両日、「収穫感謝祭」を開催します。新米やリンゴなどが当たるお楽し



季節ごとに変わる彩り豊かな切り花も人気です

み抽選会がありますので、ぜひお越しください。 【問い合わせ】農産物直売所「産直なかだ愛菜館」 ☎0220(35)3050

短歌 まちの文芸

作品募集! ●11月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、9月29日(金)まで応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

古希祝い童に顔り胸躍る 懐かし笑顔薄い記憶も わが庭に近ごろ雀が現れず 不作と言えど田んぼが良いか 百歳を迎えし伯母が今ここに 祝いの唄に目頭あつく 予報聞き三日と三晩の土用干し 甘酸っぱい梅仕上り嬉し 「行きます」と告にて征し恩師あり 歌壇に御名懐かしく見る

菅原たゑ子 (迫) ニノ神武志 (迫) 星 慶堅 (迫) 熊谷夕へ子 (中田) 佐々木栄一 (中田)

家々の玉葱吊す静かなる 里山を行く緑り吹くなか 終戦日軍服すがたの亡き父を 盆火で迎え一人なみだす 彼岸花時を感じつつ咲き乱れ 黄泉の国人生きたあかしに 秋桜を亡き娘にそなえ命日に 笑顔にゆれる秋風吹いて 百日紅影に忍びし白鷺は さり行く季節を知るや知らなむ

千葉 源治 (中田) 佐藤ヒサ子 (米山) 佐々木まき (石越) 佐藤よしの (石越) 菅野 郭公 (津山)

情報場 Information

募集

新しい出会いを探しに 登米市結婚活動支援事業

● 秋めぐり・どきどきご縁
【開催日】10月22日(日)
○ 自分磨きセミナー／オンラインワンの自分発見
【講師】ワッツビジョン代表 笹崎久美子氏
【時間】午前10時～(受け付け 午前9時30分)
【会場】アルテラスおおあみ(登米市迫町佐沼字大綱390番地15)
【人数】男女各12人
【対象者】25～49歳の独身男女
○ 出会いイベント／ハロウィン・思い切って変身
【時間】正午～どきどきご縁・ランチタイム／午後1時

● 1対1コミュニケーションタイム秋めぐり・交流会
【参加費】男性 4千円(参加条件 2セミナー・イベントともに参加できる人)／女性 2千円(セミナー参加者は1500円)
【申し込み期限】10月10日(火)午後6時
【申し込み・問い合わせ】NPO法人ハビふるネット ☎070(5474)4683
※申し込み者多数の場合は、市内在住の人を優先します。ただし、女性はその限りではありません。
※出会いイベントは、あくまでも自身の皆さんに会いの場を提供するものであり、個別に交際、結婚相手を紹介するものではありません。

一関市・平泉町・登米市・栗原市で合同婚活事業

● GO縁 in 平泉／黄金文化平泉で恋愛成就
【開催日】11月18日(土)
【時間】午前10時30分～午後4時30分(受け付け 午前10時)
【会場】平泉町ホテル武蔵坊 および毛越寺
【人数】男女各30人
【対象者】20～30代の独身男女



【その他】事前セミナーへの参加が条件となります
【セミナー日時】11月11日(土)午前／女性、午後／男性
【会場】ホテル武蔵坊
【内容】婚活にも、仕事にも役立つコミュニケーション講座
【申し込み期限】10月27日(金)
【申し込み・問い合わせ】NPO法人フアンスポルト一関 ☎0191(48)4677

とめられないこの出会い とめこんGO開催

● とめこんGO
【開催日】10月28日(土)
【時間】午前10時～午後5時30分(受け付け 午前9時30分)
【集合場所】登米市役所(登米市迫町佐沼字中江2丁目6番地1) ※集合場所から、大型バスで移動します。

【会場】登米町観光施設および伊豆沼農産
【人数】男女各15人
【対象者】20～40代の市内在住独身男性、20～40代の独身女性
【参加料】男性5千円、女性2千円
【申込期限】10月10日(火)
【申し込み・問い合わせ】登米市青年部会・とめ青年会議所 ☎0220(22)6617

夜間納税相談窓口 (9・10月分)

【日時】9月28日(木) 10月26日(木)
いずれも午後8時まで
【場所】市役所迫庁舎(1階)総務部収納対策課
【問い合わせ】総務部収納対策課(徴収対策係) ☎0220(22)2169

住宅入居者を募集	
募集する住宅	
市営住宅	<p>登米金山南第二住宅6号(昭和51年)(登米町寺池金山46番地) ▶ 募集戸数=1戸(3DK) / 家賃月額=1万4000円～1万5400円 / 駐車場契約なし</p> <p>津山宮町住宅1棟1号、2棟1号(昭和51年)(津山町柳津字黄牛田高畑22番地1) ▶ 募集戸数=2戸(3K) / 家賃月額=1万1200円～1万6600円 / 駐車場利用は1台まで</p> <p>津山平形住宅1-3号(昭和57年)(津山町柳津字平形75番地1) ▶ 募集戸数=1戸(3DK) / 家賃月額=1万4000円～2万8000円 / 駐車場利用は1台まで</p>
特定公共賃貸住宅	<p>津山柳津四丁目特定公共賃貸住宅1号(平成15年)(津山町柳津字本町67番地) ▶ 募集戸数=1戸(1LDK) / 家賃月額=3万円～4万7000円 / 駐車場利用は1台まで</p>
定住促進住宅	<p>石越定住促進住宅1号棟202号室(2階)、1号棟301号室(3階)、2号棟303号室(3階) (石越町南郷字館前176番地1) ▶ 募集戸数=3戸(3DK) / 家賃月額=3万5000円 / 駐車場利用は1台まで</p>

【入居資格】住宅に困っている世帯 ※市営住宅は低所得世帯であること、特定公共賃貸住宅は所得が一定基準額の範囲内であること、定住促進住宅は一定以上の所得があることなどの要件があります。東和定住促進住宅も随時入居者を募集しています。駐車場利用は、別途1台2千円かかります。詳しくは、建設部住宅都市整備課までお問い合わせください。
【申込期限】10月4日(水) ※期限厳守
【申し込み】各総合支所市民課、または建設部住宅都市整備課(市役所中田庁舎2階) ※郵送不可
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅整備係) ☎0220(34)2316

宮城県最低賃金の改正

県内の事業場で働く全ての労働者(臨時、パートなどを含む)に適用される最低賃金が改正されます。

時間額	効力発効日
772円	平成29年10月1日

【問い合わせ】宮城労働局賃金室 ☎022(299)8841

毎月8のつく日 8日 18日 28日 + 毎週土曜日

税引3,240円以上お買上げで

ポイント5倍

ダイユー・イト 登米中田店案内図 広告

宮城県登米市中田町石森字駒ヶ谷400
TEL 0220-23-9433
営業時間 9時30分～8時

確かな技術でまかせて安心

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて

KUMANEN 熊谷燃料住設株式会社

災害時安定供給施設

- アクアショップ KUMANEN
- BFC クマネン
- コインランドリー 清潔空間
- なごみの家きらり
- 関連企業
- 網ネオウイング

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北畝田120番1
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

登米祝祭劇場 10月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
7(土)	◎第65回全国高校定時制通信制生徒生活体験発表 宮城県大会 【開会】午前10時15分 【会場】大ホール 【入場料】無料	佐沼高校 ☎ 0220(22)2022
14(土)	◎天平ピアノソロコンサート 【開演】午後2時 【会場】小ホール 【入場料】4000円、小中高大生2000円	東北メディアクリエーション ☎ 022(286)3824
15(日)	◎第26回なかだ音楽祭 【開演】午前9時 【会場】大ホール 【入場料】無料	なかだ音楽祭実行委員会 ☎ 0220(34)3719
22(日)	◎JAみやぎ登米 第20回アグリフェスタ 【開会】午前9時 【会場】野外劇場ほか 【入場料】無料	JAみやぎ登米 ☎ 0220(22)8211
25(水)	◎登米市中学校音楽文化祭 【開演】午前9時30分 【会場】大ホール 【入場料】無料	津山中学校 ☎ 0225(68)2083
26(木)	◎泉忠伸 LIVE2017 ~ Singer songwriter ~ 【開演】午後7時30分 【会場】小ホール 【入場料】1000円	泉 忠伸 ☎ 090(1375)1600

※10月の休館日は、2日、10日、16日、23日、30日です
※入場料金は、前売り価格です

就労関係事業所連絡会は、市内にある障害福祉サービス事業所の紹介コーナーをみやぎ生活協同組合加賀野店に設置しました。各事業所の取り組みや利用者が作った製品などを展示しています。ぜひお立ち寄りください。

【時間】午前10時～午後4時
【場所】みやぎ生活協同組合加賀野店（若葉園グリーン工房内）

【問い合わせ】就労関係事業所連絡会事務局障害者就業・生活支援センター「ゆい」
☎ 0220(21)1011
FAX 0220(21)1012



▼NTTタウンページ東北営業本部営業企画部（編集・企画担当）
☎ 022(797)5528

▼障害福祉サービス事業所の紹介コーナーを設置

お知らせ

法や裁判所を身近に「法の日」週間行事実施

裁判所などでは、10月1日から1週間を「法の日」週間とし、各種の行事を実施しています。

詳しくは、裁判所ウェブサイト（<http://www.courts.go.jp/>）や、各地の裁判所の総務課で案内していますので、ぜひご参加ください。

【問い合わせ】仙台地方裁判所事務局総務課庶務係
☎ 022(222)6115

ため池での水難事故防止と安全管理について

県内では、ため池での水難事故が、28年度に10件（13人が死亡発生しています。要因は、子どもたちが水遊びや釣りなどに夢中になって、水路やため池に転落する事故が後を絶ちません。また、近年は高齢者の水難事故も発生しています。日ごろから、子どもたちだけで水路やため池で遊ばせないなど、子どもや高齢者のいる家庭では注意喚起が大切です。

【利用方法】商品券の利用先は、購入場所の商工会地域限定となります。

ご利用いただく加盟店のある商工会で購入ください。

【利用期間】10月2日（月）～30年3月31日（土）

【問い合わせ】登米市振興協同組合（登米中央商工会内）
☎ 0220(22)3681
みやぎ北上商工会
☎ 0220(34)3255
登米みなみ商工会
☎ 0220(55)2331

くらしの便利帳を配布 防犯情報も追加しました

市とNTTタウンページ東北営業本部は「登米市くらしの便利帳」を合冊した「タウンページ宮城県登米市版」を共同制作し、9月上旬から市内の家庭・事業所へ無料配布しています。

今回は、新たに宮城県警の協力を得て制作した、防犯特集も掲載しています。冊子が9月末までお手元に

【配布に関する問い合わせ】
▼タウンページセンター
☎ 0120(506)309
（平日午前9時～午後5時）

【登米市くらしの便利帳に関する問い合わせ】
▼企画部企画政策課（企画政策係）
☎ 0220(22)2147

【タウンページ登米市版に関する問い合わせ】

ねんきんだより

国民年金は誰もが加入する制度です

日本在住の20歳以上60歳未満の人は、国民年金に加入することになります。

加入者は、職業などによって3つのグループに分かれ、それぞれ加入手続きが異なります。

▼第1号被保険者
自営業者、学生、フリーター、無職の人などで、加入者自身が住所地の国民年金担当窓口（市役所各総合支所市

民課）で手続きします

▼第2号被保険者
会社員や公務員など、厚生年金保険加入者で、勤務先が手続きします

▼第3号被保険者
第2号被保険者に扶養されている配偶者で、加入手続きは第2号被保険者の勤務先を経由して行います

【問い合わせ】
古川年金事務所
☎ 0229(23)1200
市民生活部国保年金課（年金医療係）
☎ 0220(58)2166
【ねんきんダイヤル】
☎ 0570(05)1165

～秋の農作業安全運動展開中～

近年、過信や慣れによる安易な作業などが重大事故につながっています。家族や地域でもう一度農作業安全の実践事項を確認し、正しい機械操作で、農作業事故をなくしましょう。

【農作業安全の実践・確認項目】

- ①機械や道具の点検・整備
 - ②休憩の取れる無理のない作業
 - ③農道を走行する際の路肩状況の確認
 - ④農作業や機械作業に適した服装
 - ⑤慎重なほ場への出入り、あぜ越え
 - ⑥点検・調整時は、必ずエンジン停止
 - ⑦道路走行に備え、反射板の装着
- 農作業後の泥汚れについて（お願い）

道路に落ちた泥は、通行の妨げになり大変危険です。トラクターなどで農作業をした後に、田や畑から道路へ出る際は、泥を落としてから走行するように心掛けましょう。

【問い合わせ】産業経済部産業政策課（産業政策係） ☎ 0220(34)2716

<p>人と環境への新しい優しさを目指して お気軽にご相談下さい</p>	<p>株式会社 清建 環境プロバイダ 本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3 TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658</p>	<p>仙台(営)/〒981-3133 宮城県仙台市泉区中央3丁目18-1 泉ネットワーク7ビル2階 広告 TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980 南三陸(営)/〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313 TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122 URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp</p>
	<p>有限会社 清建物流 TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535 本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1</p>	<p>有限会社 リースキン宮城 TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字 下田中53番地8 リースキン</p>

<p>株式会社 刺蒸くまがい</p>	<p>●働く会社● 法事・宴会 広告 中田中学校通り 0220-34-5002</p>
<p>株式会社 誠香社</p>	<p>葬儀からご法要までの一環システム 登米市内ホールは5ヶ所ございます。(お選びいただけます) 24時間受付 0220-34-4856(代表)</p>

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

10月の納税

市県民税・・・3期
国民健康保険税・・・5期
介護保険料・・・5期
後期高齢者保険料・・・4期

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限／10月31日(火)

登米市の人口・世帯数

(平成29年8月末現在)

地区	世帯数	人口(人)		
		男	女	計(前月比)
迫	7,620	10,145	10,736	20,881 (▲16)
登米	1,809	2,350	2,577	4,927 (2)
東和	2,403	3,221	3,343	6,564 (6)
中田	5,076	7,735	8,098	15,833 (2)
豊里	2,149	3,327	3,376	6,703 (1)
米山	2,815	4,540	4,732	9,272 (5)
石越	1,591	2,483	2,517	5,000 (▲17)
南方	2,664	4,254	4,474	8,728 (▲3)
津山	1,184	1,623	1,787	3,410 (▲10)
合計	27,311	39,678	41,640	81,318 (▲30)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています。

市内の交通事故発生状況

(平成29年8月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	H29	H28	増減数
人身事故発生件数	125件	178件	▲53件
死者数	2人	0人	2人
負傷者数	164人	225人	▲61人
物損事故発生件数	1,025件	1,048件	▲23件

※平成29年1月からの延べ件数

警察署からのお知らせ

秋が深まり、紅葉シーズンがやってきます。遠出される機会も増えますが、旅行される際は、無理のない計画を立て、余裕を持った行動を心掛けてください。時間に余裕があれば、運転にも余裕ができ、安全運転につながります。また、季節の移ろいと共に日が落ちる時間も早くなります。車を運転する人は、早めにライトを点灯し、歩行者は、反射材や明るい色の服装を身に着けて交通事故を防止しましょう。

市内放射線の測定結果

測定日：平成29年9月8日 単位：マイクロシーベルト

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.05	晴れ
消防署北出張所(石越)	0.04	晴れ
消防署東出張所(東和)	0.04	晴れ
消防署津山出張所	0.05	晴れ
消防署南出張所(豊里)	0.05	曇り
消防署西出張所(南方)	0.04	晴れ

空間放射線量の測定結果はホームページに掲載およびメール配信しています。

テレビ受信障害対策を 装った詐欺行為に注意

これまで地上テレビ放送が使用していた周波数帯は、総務省による700MHz(メガヘルツ)帯の再編により、携帯電話の電波が使用することになります。携帯電話基地局の開設に伴い、10月26日から試験電波が発射され、試験の影響により、一部地域で電波受信障害が発生し、テレビ放送が正常に視聴できなくなる恐れがあります。

この対策については「一般社団法人700MHz利用推進協会」が実施し、テレビの受信障害が発生する可能性がある世帯には、試験前にチラシを配布します。また、対策が必要な世帯には、テレビ受信障害対策員証を携行した工事業者が直接訪問します。対策費用は全て「700MHz利用推進協会」が負担しますので、市民の皆さんに費用を請求することは絶対ありません。テレビ受信障害対策を装った詐欺行為や悪徳商法などには十分にご注意ください。

テレビ放送が正常に視聴できなくなった場合や不審な訪問があった場合は、問い合わせ

※職業のあつせんではありませんのでご注意ください。
【相談担当・申し込み・問い合わせ】▼障害者就業・生活支援センター「ゆい」
☎0220(21)1011
☎0220(21)1012
▼福祉事務所生活福祉課(障害福祉係)
☎0220(58)5552
☎0220(58)2375

一人を抱え込まないで
多重債務者無料法律相談

【日時】10月13日(金)、10月27日(金)午後1時15分～4時15分
【場所】迫にぎわいセンター
【担当】13日＝開発育子(司法

せ先までご連絡ください。
【問い合わせ】700MHzテレビ受信障害対策コールセンター
☎0120(700)0122
または050(3786)0700
受付時間＝午前9時～午後10時(土日・祝日及び年末年始含む)

催し

はさま童謡を歌う会 ふれあいコンサート

【日時】10月17日(火)午後0時20分～0時45分
【場所】市役所迫庁舎(1階ホール)
【合唱曲名】▼ふるさと▼雨降りお月さん▼てるてる坊主
【問い合わせ】はさま童謡を歌う会(吉田)
☎0220(22)4109

第3回登米市弓道大会を 開催します

【日時】11月5日(日)午前9時30分(受け付け9時)
【場所】迫武道館
【対象】市内在住者、市内高校通学者、市内勤務者

書士)、27日＝及川毅(弁護士)
【相談専用電話】
☎0220(34)2308
【相談料】無料(要電話予約)
【問い合わせ】産業経済部商業観光課(商業振興係)
☎0220(34)2734

暮らし、仕事などの悩み 相談に応じます

「生活に困っている」「頼れる人がいない」などの悩み、心配ごとを相談してみませんか。専門的知識を持つ支援員が、問題を整理し、解決方法を一緒に考えます。相談無料、秘密は厳守しますので、気軽に相談ください。なお、出張相談は事前に予約

【内容】1人10射個人戦、男女別3位まで賞品授与
【参加費】無料
【申し込み期限】10月23日(月)
【申し込み・問い合わせ】市弓道協会事務局(岩井)
☎080(5565)4906



「一関・平泉バルーンフェスティバル」を10月20～22日に一関水辺プラザで開催します。

熱気球は「見えない風」に乗る自然に優しい乗り物で、錦秋の大空に色とりどりの気球の華を咲かせます。開催期間中、燃料不足などで個人の田んぼなどに着陸する場合がありますので、その

が必要で

【時間】午前8時30分～午後5時15分(土日、祝日を除く)
【場所】くらし・しごと相談センターともまち登米(迫町佐沼字中江三丁目9番地8)

出張相談日程・場所

開催日	時間	場所
10月10日(火)	9:30～11:30	中田農村環境改善センター
	13:30～15:30	石越公民館
10月24日(火)	9:30～11:30	米山公民館
	13:30～15:30	南方公民館

【予約・問い合わせ】くらし・しごと相談センターともまち登米

際はご理解とご協力をお願いいたします。
お近くで飛んでいる気球を見かけましたら、ほのぼのとした気球の世界をお楽しみください。

【問い合わせ】一関・平泉バルーンフェスティバル実行委員会(事務局＝一関市商工労働部商業観光課)
☎0191(21)8413

相談

10月は個別労働関係紛争 処理制度の周知月間です

県労働委員会では、不当な解雇、サービス残業、ブラックバイトやパワハラなどの労働問題について、労使間で解決が困難な場合、話し合いによる解決を支援する「個別労使紛争のあつせん」をしています。

労働問題に精通した弁護士などのあつせん員が、主張や事情を聴きとり、双方が納得できる解決を目指します。

また、相談の内容により、他の適切な機関もご紹介いたします。相談内容などの秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。

☎0220(23)9963
FAX0220(23)9964

年金相談に応じます 年金相談所を開設

年金の相談に応じます。相談は完全電話予約制。前日までにご連絡ください。

※予約の際に「相談者氏名」「基礎年金番号」「電話番号」「相談内容」などを確認させていただきます。

【日時】10月26日(木)午前9時30分～正午、午後1時～3時30分
【場所】市役所南方庁舎(2階中会議室)

【予約受け付け・問い合わせ】古川年金事務所

【費用】無料
【申し込み】電話
【問い合わせ】県労働委員会事務局(県庁17階)
☎022(211)3787

もめごと、悩みごと 調停相談会を開催

【日時】10月15日(日)午前9時30分～午後3時(受け付け＝午前9時～午後2時30分)
【場所】中田農村環境改善センター

【相談内容】●民事(借入金、過払返金、金銭、土地建物、交通事故など) ●家事(夫婦、親子、扶養、遺産、財産分与相続など) ※相談は無料で秘密は厳守されます。

【問い合わせ】登米裁判所
☎0220(52)2011
登米調停協会庶務(担当＝金)
☎0228(34)3874

障がい者の自立に向けて しごと相談を開設

【相談日時】10月24日(火) ①午前9時30分～②午前11時～③午後1時30分～④午後3時～
【場所】宮城県東部保健福祉事務所登米地域事務所

☎0229(23)1200

金融機関からの資金調達 をサポートします

宮城県信用保証協会は、中小企業や小規模事業者、これから事業を始める皆さんが、金融機関から事業に必要な融資を受ける際に、保証人となり支援する公的機関です。

創業、経営支援などにも取り組んでいますので、お気軽にご相談ください。

【対象】中小企業・小規模事業を営んでいる人、またはこれから事業を始める人
【問い合わせ】宮城県信用保証協会大崎支店
☎0229(22)0722



伊藤 幸義さん(28) 駒林 実行委員長
ふるさと花火 in 長沼

相澤 吉悦さん(69) 大形 大形地区野球部元監督
大形地区野球部元監督



新田、北方地区をはじめ、協賛者や関係団体など、多くの皆さんの支えがあって、30回を迎えることができました。30年の間には、方向性や実行委員の人数不足など、開催を危ぶむこともありました。東日本大震災の影響で、会場が使用できなかった

花火が始まったきっかけは、今もはっきり覚えていません。87年8月13日、集会所で野球大会の慰労会をしていたときのこと。誰かが「監督、長沼に花火が打ち上げられたら、きれいだよね」と言ったところ、みんなが賛同。同29日に野球部員たちで花火大会

2011年以外、無事に開催できています。今は「長沼花火ね」とどこに行っても話は簡単に済みます。これも、私たちの先輩が、地域に根ざした活動をしてきたからだと思っています。そのスタイルは、これからも変えずに続けていきます。

を開催しました。一発目の花火が上がったときは、涙が流れました。「花火は、今回だけ」と話すと、手伝いに来た迫町青年会員が引き継いでくれました。歴代実行委員のお陰で「おらいの花火」がここまでつなげてきました。感謝しています。

Interview

人の思い大切に花火

実行委員の皆さんに頼まれ、2回目の開催から、打ち合わせ場所を提供しています。当時は、集会所がなかった。その縁で、毎年花火を提供しています。長沼花火の魅力は「記念花火」。提供者の思いが込められており、それがたくさん打ち上がるのですから。人の思いを大切にしている花火だから、30年も続いているのですよ。

花火が誕生日プレゼント

【千波】10年ほど、親戚や友人家族たちとバーベキューをしながら、毎年花火を楽しんでいます。【なつみ】花火開催日は私の誕生日。毎年長沼で祝ってもらっています。来年も花火の誕生日プレゼントを楽しみにしています。【2人】30回開催おめでとうございます。長く続けてください。

長谷川武勇さん(79)



袋なつみさん(24)・千波さん(49)



1 水中スターマインが見られる花火大会は、市内で長沼だけ
2 2000年から始まった名物「ナイアガラ」。今年の全長は159%
3 看板の設置などは、7月中旬に準備する。相談役となった初期メンバーから意見を聴く。打ち上げ会場付近の灯籠は、エスプレッソFCの子供たちが設置に協力。花火会場は、家族連れでバーベキューやスイカ割りなどを楽しむ姿が見られた。花火会場内ではバーベキューをできるのは、県内では長沼だけ。フットピア公園駐車場には屋台などが並び、多くの家族連れでにぎわう。花火打ち上げ前は、フラダンスや太鼓などが披露

おこしにつなげる」。実行委員が設定した花火大会の目的は、的確なものだった。2017年8月13日。初の打ち上げから、10943日が経過した。これだけ、続いているボランティア形式の花火大会は、全国でもまれ。これは、花火の提供、会場付近の清掃など、地域が「自分たちの花火」と支えているからだ。人と心をつなぐ「長沼花火」。それはこれからも変わらない

心つないだ10943日



ふるさと花火 in 長沼が 30 回の記念大会を迎えた
大形地区野球部が始めた取り組みは

地区の青年会を中心とした実行委員会に引き継がれ、現在に至っている
新田、北方地区では「おらいの花火」と愛されているこのイベント
おらいの花火が、30年続いてきた理由を探った



第30回記念ふるさと花火in長沼

人と心つないだ花火
これからも変わらぬ

「第30回記念ふるさと花火 in 長沼」は8月13日、長沼フットピア公園で開かれ、約3000発の打ち上げ花火が長沼を彩った。

水中スターマインや長さ約160mの光のカーテン「ナイアガラ」に、見物客は歓声を上げた。このほか、子供の誕生日や供養など、市民から募集した「記念花火」がお盆の夜空を鮮やかに染めた。

長沼に初めて花火が打ち上がったのは1987年、迫町大形地区の「大形地区野球部」が主催した「大形花火大会」。これに関わった迫町青年会員が、翌年「長沼に花火を打ち上げる実行委員会（高橋敏幸委員長）」を結成し、「第2回ふるさと花火 in 長沼」が開催され、現在に至っている。

当初は、登米市（当時）でインターハイが開催される90年までの予定だったが、それ以降の存続を求める声が多数寄せられた。花火を楽しみたいということもあるが、新田、北方地区では「長沼花火はおらほの宝物」と、貴重な地域資源と位置付けていた。「長沼」という地域資源を生かし、ま

YOSAKOI & ねぷた in とよさと 8月6日



とよま明治村夏まつり 8月5日



夏景色 登米彩の



佐沼夏祭り 7月22~23日



ときめき人

Tokimeki bito



衰えることがない 音楽への情熱 その音色は 時代と世代をつなぐ

南方町・山成

白鳥 康彦さん

しらとり・やすひこ
1946年生まれ 血液型/O型

Profile

1976年に結成したニュー・シャーマン楽団代表。全演奏曲の編曲を手掛ける。音楽に興味があり、演奏や編曲などを学んでみたい人は、白鳥さんまでご連絡を。

☎ 0220(58)3214



記念コンサートでの力強く優しい演奏に観客たちは酔いしれる

市内で活躍するアマチュアバンド「ニュー・シャーマン楽団」が、今年結成40周年を迎えた。記念コンサートは6月18日、登米祝祭劇場で開かれ、老若男女を問わず、幅広い年齢層の観客で会場は埋め尽くされた。

楽団を束ねるのは、指揮とテナーサクソを担当する白鳥さん。南方中を卒業後、楽器演奏を愛する仲間とバンドを始めたのがきっかけで、現在は16人編成で活動している。楽団はラテン音楽、ジャズ、演歌など幅広いジャンルを演奏。さまざまなイベントに出演し、地域を盛り上げることに貢献してきた。白鳥さんは「記憶や体力の衰えを感じる年齢になった」と笑う。その言葉とは裏腹に、平均年齢65歳の団員らは、演奏が始まれば

年齢を感じさせないパフォーマンスで、熟練した音色が観客を魅了する。

コンサートでは、白鳥さんがユーモアを交えて進行、客席は笑いの渦に。「お客さんには演奏だけではなく、コンサート全てを楽しんでもらいたい」と細やかな気配りを忘れない。その気配りに応えるように、演奏の合間に団員に花束などが手渡される。ニュー・シャーマンのコンサートは、楽団、客席が一体となってつくられている。

楽団の合言葉は「生活に潤いを、心にオアシスを」。「今まで活動を続けることができたのは、地域の皆さんが支えてくれたおかげ。今後も活動を通じて恩返ししたい」。楽団は、時代と世代をつなぐ居心地のいい音楽を届け続ける。

編集後記

▼「一番短かった」。佐沼高ボート部員が、ゴール後につぶやいた一言が忘れられない。最後のレースとなった悔しさや寂しさ、2年半の部活動や仲間への思い。たった10文字に、多くの思いが込められており、胸が熱くなった。四半世紀以上前のあの日を思い出した。(及川)

▼全国大会へ出場した選手の皆さんを取材。全国大会への切符を手にするため、みんな見えないところで努力をしている。基礎トレや食事の面での栄養バランスなど。やはり、目標を高くすればするほど、忍耐力と強い意志が必要。神様は努力した人を見逃さない。(千葉)

▼8月に入り、管区気象台が「東北地方は梅雨明けしたとみられます」と発表。いよいよ暑い夏が来ると構えていたのに、曇りや雨の日が続いて、気分はどんより。久しぶりに晴れた朝はとてすがすがしく、改めて太陽のありがたさを実感した今年の夏。(伊藤)



モバイルとめ

(携帯電話版ホームページ)

<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)

<https://mail.cous.jp/tomecity/>

